

平成 2 5 年度 社会福祉法人 上田市社会福祉協議会事業報告書

自 平成 2 5 年 4 月 1 日

至 平成 2 6 年 3 月 3 1 日

1 法人運営事業

(1) 法人運営事業

ア 理事会、評議員会

理 事 会	第 31 回 25. 5. 29	<ul style="list-style-type: none"> ・ 副会長の選任について ・ 平成 24 年度事業報告及び一般会計・公益事業特別会計決算について ・ 平成 25 年度一般会計第 1 次補正予算について ・ 定款の一部変更について
	第 32 回 25. 9. 5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 25 年度一般会計第 2 次補正予算について
	第 33 回 26. 1. 17	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交代に伴う評議員の選任について ・ 平成 25 年度一般会計第 3 次補正予算について ・ 任期満了に伴う評議員の選出について
	第 34 回 26. 3. 27	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生活困窮者自立支援モデル事業について ・ 塩田西デイサービスセンター休止について ・ 任期満了に伴う評議員の選任について ・ 平成 25 年度一般会計・公益事業特別会計第 4 次補正予算について ・ 平成 26 年度事業計画及び一般会計・公益事業特別会計予算について
評議員会	第 19 回 25. 5. 29	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 24 年度事業報告及び一般会計・公益事業特別会計決算について ・ 平成 25 年度一般会計第 1 次補正予算について
	第 20 回 26. 3. 27	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 25 年度一般会計・公益事業特別会計第 2、3 次補正予算について ・ 生活困窮者自立支援モデル事業について ・ 塩田西デイサービスセンター休止について ・ 任期満了に伴う理事・監事の選出について ・ 平成 25 年度一般会計・公益事業特別会計第 4 次補正予算について ・ 平成 26 年度事業計画及び一般会計・公益事業特別会計予算について

イ 会 議 信州上田医療センター地域医療諮問委員会、県長寿社会開発センター
上小支部運営委員会、監査、正副会長会、市町村事務局長会議、民生委員・児童委員協議会役員会及び地区定例会、地区社協正副会長会議、介護保険関係会議 他

- ウ ブロック会議 上小ブロック連絡会議、上小ボランティア交流研究集会実行委員会、上小ブロック社協職員研修会 他
- エ 研 修 会 社会福祉トップセミナー、市町村社協役職員研修会、人権を考える市民の集い、地域福祉推進リーダー推進事業会議、社協経理研修会、日常生活自立支援事業専門員・支援員研修会、日常生活自立支援事業推進会議、上小圏域介護保険事業者連絡協議会、介護支援専門員研修会、苦情対応システム研修会 他
- オ 職員研修 ビジネスマナー研修会、新人職員研修会、正規職員研修会、臨時・嘱託・パート職員研修会、介護・包括関係者職員研修会、係長級職員研修会、上田市社協職員経理研修会、デイサービス実地研修会

職員有資格者数

資格の種類	人 数
社会福祉士	19 人
介護福祉士	33 人
主任介護支援専門員・介護支援専門員	27 人
保健師・看護師	15 人
教諭・保育士	68 人

- カ 視 察 等 長野県安曇野市社会福祉協議会視察訪問、石川県小松市社会福祉協議会視察訪問

キ 大 会

(ア) 上田市社会福祉大会

10月16日 上田市民会館 参加者 900 人

内 容 ○式典…表彰者 30 人、5 団体・感謝状 3 人

○寸劇…「慈愛」

出演者 上田市社会福祉協議会職員

○記念講演…「元気で長生き！タニタ式6つの健康習慣」

講 師 池田 義雄 氏

(イ) 長野県社会福祉大会

9月11日 大田市文化会館大ホール（大田市大町 1601-2）

上田市から 25 人参加（県下から 750 人参加）

内 容 ○大会式典、表彰、共同募金に対する謝辞、実践報告

表彰者（上田市のみ）

社会福祉功労者表彰：青木順子、両角一幸、金井利光

社会福祉活動表彰：馬場百合子

長野県共同募金会会長表彰：モチーフの会

○講演

『チャレンジ -夢がかなうとき-』

有森 裕子 氏（公益財団法人スペシャルオリンピックス日本理事長、元マラソンランナー）

ク 社協会費

上田市社会福祉協議会は、会費会員制を導入しており、市民の皆様から納入していただいた会費を地域福祉活動に活用した。

会費種類	25年度社協会費納入実績		24年度 納入実績	23年度 納入実績
	金額	備考	金額	金額
普通会費	23,322,230円	46,644世帯	23,303,332円	23,004,914円
特別会費	2,565,000円	2,565人	2,758,000円	2,950,000円
法人会費	1,877,000円	316法人	1,753,000円	1,822,000円
団体会費	141,000円	91団体	99,000円	84,000円
合計	27,905,230円		27,913,332円	27,860,914円

ケ 資金貸付

低所得者、高齢者、障がい者を対象に資金の貸付と必要な援助指導を行うことにより、世帯の自立と更生に努めた。

(ア) 総合支援資金

この資金は失業等により生計の維持が困難になった世帯に対して、再就職までの生活資金として貸付けるものである。

(イ) 福祉資金

この資金は多くの世帯の自立更生に活用されている。

貸付状況

資金種類		相談件数	貸付件数	貸付額
総合支援資金	上田地区	85件	1件	152,000円
	丸子地区	2件	0件	0円
	真田地区	0件	0件	0円
	武石地区	0件	0件	0円
	合計	87件	1件	152,000円
福祉資金	上田地区	167件	8件	1,244,000円
	丸子地区	4件	0件	0円
	真田地区	0件	0件	0円
	武石地区	0件	0件	0円
	合計	171件	8件	1,244,000円

教育支援資金	上田地区	12件	1件	955,000円
	丸子地区	1件	0件	0円
	真田地区	0件	0件	0円
	武石地区	0件	0件	0円
	合計	13件	1件	955,000円
合計		271件	10件	2,351,000円

コ 苦情解決第三者委員会

(ア) 委員会

開催日時：6月21日

開催場所：上田市ふれあい福祉センター 3階団体会議室

(イ) 平成25年度苦情対応システム研修会

【松本会場】

開催日時：11月20日

開催場所：松本市浅間温泉文化センター

【長野会場】

開催日時：12月4日

開催場所：長野市若里市民ホール

(2) 善意銀行

個人、団体、法人等の皆さんから、金品を御寄付いただき、社会福祉活動に役立たせていただきました。

金銭寄付

月	日	金額(円)	氏名	備考
4	15	8,317	生活改善グループ上田	東日本大震災の義援金として
4	23	50,000	匿名	介護用品(デイサービス)の購入 デイサービスでの使用として
5	2	200,000	匿名	
5	16	10,841	上田山草会	
5	27	1,870	匿名	
5	27	300,000	矢嶋診療所	指定寄付 デイサービスやすらぎ
6	11	10,000	許今善	
6	14	17,700	丸子さつき会	
7	1	5,368	匿名	

7	3	1,000,000	上原憲	
7	9	48,492	匿名	
7	22	30,000	イムマヌエル総合伝道団上田キリスト教会	
8	19	24,943	ビューティサロンさつき	
8	28	10,000	匿名	指定寄付 神川介護相談センター
9	2	18,097	西塩田夏まつり実行委員会	指定寄付 塩田西小学校へ
9	9	10,000	許今善	
9	25	5,000	岩田章子 他14名	
10	1	14,000	丸子ゴルフ大会実行委員会	
10	22	10,000	長野県農民美術連合会	
10	23	4,838	メンタルサポート 老よがせ病院	
10	25	5,200	上田山草会	
11	1	24,002	日信フェアIN上田実行委員会	
11	1	36,240	丸子山野草クラブ	
11	11	100,000	東京丸子会	指定寄付 丸子地区
11	13	1,773	匿名	
11	28	20,000	竹の会	指定寄付 東日本大震災義援金
12	2	41,000	長野県理容生活衛生同業組合 上小支部	
12	9	15,655	第12教区曹洞宗青年会	
12	10	23,382	匿名	指定寄付 福島県南相馬市
12	12	50,000	JA信州うえだ 女性部丸子支会	指定寄付 丸子地区
12	20	21,717	上田友の会	
12	24	50,000	匿名	指定寄付 丸子地区
12	25	20,000	上田市マレットゴルフ協会	
12	26	2,892	匿名	
12	26	15,000	ダンスサークル ステップアップ	指定寄付 丸子老人福祉センター 長瀬市民センター
12	26	10,000	ダンスサークルMSW	指定寄付 丸子地域内
12	17	10,000	匿名	指定寄付 神川介護相談センター
1	16	30,000	上田西ロータリークラブ	
1	21	250,000	上田市丸子地区赤十字奉仕団・上田市連合婦人会(丸子)	指定寄付 丸子老人福祉センター
2	27	50,000	匿名	丸子高齢者サービスセンターへ

3	7	45,892	下之条カラオケクラブ	
3	14	22	上田市立豊殿小学校	指定寄付 東日本大震災義援金
3	14	26	上田市立豊殿小学校 6年生	指定寄付 東日本大震災義援金
3	14	2	上田市立豊殿小学校 特別支援学級	指定寄付 東日本大震災義援金
3	24	8,700	中央公民館 陶芸クラブ	指定寄付 上田ボランティア連絡協議会
3	25	5,000	匿名	
3	26	2,536	匿名	
合計		2,618,505		

物品寄付

月日	物品	氏名	備考
4/12	車いす・ポータブルトイレ	匿名	
4/25	未使用ハガキ・未使用切手・収入印紙	新田長生会加のこすもす	上田ボランティア地域活動センターへ払出し
5/9	エンディングノート 200冊	とこしえ	
5/13	商品券 4,000円分	匿名	
5/24	未使用ハガキ・未使用切手	新田長生会加のこすもす	上田ボランティア地域活動センターへ払出し
5/29	タオル・手ぬぐい・バスケット	匿名	
6/12	未使用ハガキ	新田長生会加のこすもす	上田ボランティア地域活動センターへ払出し
6/17	タオル	匿名	
6/25	DVD 34本	白井勢津子	「ほこほネット」へ
6/27	未使用ハガキ・未使用切手	新田長生会加のこすもす	上田ボランティア地域活動センターへ払出し
7/3	ポータブルトイレ・バスケット	松尾康志・寿美子	
7/4	冷蔵庫・洗濯機	青木あき	神川デパート。中央デパートへ
7/16	フロア扇・電気暖房器	匿名	
7/20	鮎 400匹	株式会社 シマノ埼玉営業所	指定寄付 市内8施設へ
7/22	洗濯機	匿名	
7/24	未使用ハガキ・未使用切手	新田長生会加のこすもす	上田ボランティア地域活動センターへ払出し
8/19	未使用ハガキ・書き損じハガキ	ビューティー加のさつき	
8/29	未使用ハガキ・未使用切手	新田長生会加のこすもす	上田ボランティア地域活動センターへ払出し
9/30	未使用ハガキ・未使用切手	新田長生会加のこすもす	上田ボランティア地域活動センターへ払出し
10/7	バスケット 17枚	匿名	
10/8	古米 60kg	匿名	
10/18	車いす・木製テーブル・毛布	興水政春	指定寄付 丸子老人福祉センターへ

10	22	都市ガス暖房機	匿名	
10	23	古米 60 kg	匿名	
10	24	未使用切手	新田長生会加のこすもす	上田ボランティア地域活動センターへ払出し
10	30	電動ﾊﾞｯﾃﾘｰ・浴衣	匿名	指定寄付 神川ﾃｲﾍﾞ
10	30	米 1 kg	匿名	
11	1	ﾀｵﾙ・ﾊﾞｽﾀｵﾙ・未使用切手・使用済切手	川辺町楽生会	指定寄付 上田原敬老園へ
11	5	電動機付自転車 飾り棚	美し信州建設(株)	NPO 法人 アﾃｲﾍﾞｰ港-みなと NPO 法人 ぼけっと 喫茶ぼけっと海野町店
11	5	中古洗濯機	松尾康志・寿美子	
11	25	尿とりﾊﾟｯﾃﾘｰ 3 ﾎﾟｯｸ	折井弘一	
11	28	未使用ｶﾞｷ・未使用切手	新田長生会加のこすもす	上田ボランティア地域活動センターへ払出し
11	28	紙おむつ 2 ﾞｯｸ	匿名	
12	2	ぞうきん・新ﾀﾞﾐ・古ﾀﾞﾐ	長野県理容生活衛生同業 組合 上小支部	
12	3	男性用おむつ	匿名	
12	9	白米 108 kg	匿名	指定寄付 丸子地区へ
12	19	未使用ｶﾞｷ・未使用切手	新田長生会加のこすもす	上田ボランティア地域活動センターへ払出し
12	19	商品券 1,500 円	匿名	
12	20	ｼｰｯｼﾞ・ﾊﾞｽﾀｵﾙ他	匿名	
12	25	車いす 2 台	「小さな親切」運動 上田支 部	
12	25	トイレットペーパー 400 ロール	上田市立第二中学校	NPO わっこ福祉会 わっこ本町 他 他 3 施設
1	24	ﾀｵﾙ	ﾄﾗﾝｽ中山(株) 上田(支)	
1	31	未使用ｶﾞｷ・未使用切手	新田長生会加のこすもす	上田ボランティア地域活動センターへ払出し
1	31	未使用ｶﾞｷ、書損じｶﾞｷ	匿名	
2	13	ﾊﾟﾝﾌﾞﾙ(ﾃﾞｽｸﾄｯﾌﾟ)	匿名	高齢者福祉センター初級ﾊﾟﾝﾌﾞﾙ教室へ
2	13	ﾊﾟﾝﾌﾞﾙ(ﾃﾞｽｸﾄｯﾌﾟ)	匿名	高齢者福祉センター初級ﾊﾟﾝﾌﾞﾙ教室へ
2	27	未使用切手	新田長生会加のこすもす	上田ボランティア地域活動センターへ払出し
3	3	ﾀｵﾙ 20 枚	富国生命相互会社 上 田ちくま営業所	
3	3	ﾀｵﾙ 28 枚 シｰｯｼﾞ 3 枚	富国生命保険相互会社 信州上田営業所	
3	5	車いす 3 台	上田ライオンズクラブ	1 台は真田地区センターで使用し、2 台は上田地区センターで使用する。
3	7	電動ﾊﾞｯﾃﾘｰ、車いす他	匿名	
3	7	未使用切手	匿名	
3	12	エンディングノート 100 冊	とこしえ～永遠～	
3	26	未使用ｶﾞｷ・未使用切手他	匿名	

3	27	車いす、血圧計	伊藤陽一	
3	27	リハビリパンツ	和田真奈美	
3	28	未使用切手	新田長生会加ノこすもす	上田ボランティア地域活動センターへ払出し
合計		487,529		

金銭寄付合計 2,618,505 円

物品寄付合計（金額換算） 487,529 円

寄付合計 3,106,034 円

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災及び同月 12 日に発生した長野県北部地震においては、社協の地区センター及び老人センターに義援金箱を設置し、自治会の協力のもと多くの方々から募金が寄せられ、東日本大震災については、中央募金会へ、長野県北部地震については、栄村災害募金窓口へ送金し、被災されたの方々のもとへのお見舞金として直接配分された。

平成 25 年 3 月 31 日に長野県北部地震、平成 26 年 3 月 31 日に東日本大震災の義援金の募集が終了となる。

・義援金

	東日本大震災	長野県北部地震	その他台風災害等
22 年度	4,456,904 円	668,256 円	8,659 円
23 年度	37,231,814 円	2,755,085 円	2,210 円
24 年度	445,807 円	74,490 円	9,241 円
25 年度	84,940 円		10,465 円
合 計	42,219,465 円	3,497,831 円	21,334 円

1 法人運営事業の評価等

平成 25 年度の事業計画に基づき、地域福祉を推進する中核的な団体として、福祉に関する日々の生活上の諸問題を、地域全体の問題としてとらえ、その解決に向け、福祉諸団体、NPO 法人、ボランティア等の幅広い関係者との連携・協働のもと住民主体の福祉のまちづくりを推進していくために行動指針を“あったかい 心あふれる 協働のまち”とし、豊かな福祉社会の実現のために努めた。

会費会員制を導入し、広く市民の方々に福祉にご賛同いただき社協会員という形をとおして地域での福祉活動を支えていただいた。

今後も住民主体のコミュニティづくりを目指すとともに住民の期待に対応できる組織活動の充実、職員の資質向上により一層努めます。

2 企画・広報事業

(1) 広報事業

ア 「社協うえだ」の発行

社協のPRとして、また福祉に関する情報源として、福祉講座やイベントの開催、また各地域で行われている福祉活動の様子などを偶数月に発行し、市内全世帯をはじめ、学校関係や社協法人会員の皆さまへ毎回 58,000 部を配布しお知らせした。

イ 「社協うさたまニュース」の放映

実際に各地域で行われている様々な福祉活動の様子をメインに、地域に密着した地元ケーブルテレビ放送（上田ケーブルビジョン、丸子テレビ放送）を利用して、毎月1回、15分の番組として広報紙だけでは伝えきれない生の声をお伝えした。

ウ 「社協ホームページ」の活用

社協が行う各種福祉サービスをはじめ、ボランティア情報、社協職員の募集等、様々な情報を発信した。新規の取り組みとして、トップページには企業のバナー広告欄を設けた。また、「社協のサービス」のページは、音声で内容を伝えられるよう音声ファイルを設置し、ユニバーサルな対応ができるようにした。

エ 「うさたま着ぐるみ」の活用

うえだ市民ふれあい広場、ふれあい広場 in さなだ、上田わっしょい、上田市社会福祉大会等において市民とふれあった。また、長野市エムウェーブで開催された「第1回ゆるキャラまつり 2013in 信州」に参加し、市外におけるイベントで初めて上田市社協のキャラクターとしてPRをした。

オ 「うさたまのぼり旗」

さまざまなイベントや事業において「うさたまのぼり旗」を設置し、社協のPRに活用した。

カ 「上田市社協うさたまオリジナルカレンダー」の作成

うさたまをテーマにしたカレンダーを作成し、自治会をはじめ、関係機関や社協法人会員へ配布した。

キ 「エンディングノート『絆』改訂版」の発刊

平成19年10月に発刊した『絆』～私からのメッセージ～を基に、平成25年5月31日改訂版を3,000冊発刊した。また、市民を対象にエンディングノートの書き方セミナーを開催した。

1冊1,200円　6月～3月末までに　614冊を販売

なお、初刊『絆』～私からのメッセージ～ 1冊1,000円は、6月までに85冊を販売し、2,000冊の在庫がほぼ終了した。

エンディングノートに関する講座の開催(一般市民、自治会単位、地区社協等) 計8回

2 企画・広報事業の評価等

インターネットなど各種マスメディアも活用し、より多くの市民に福祉情報が届くようにすると共に、分かりやすい情報の提供に努めた。また、各地域で行われている様々な福祉活動を紹介し、他の地域の活動の参考となっている。

紙面の充実やより多くの方に情報が届くようにするために市民アンケートの実施や編集員を設けるなど第三者の声を取り入れていくことも検討していきたい。

3 地域福祉推進事業

(1) 希望の旅事業

日ごろ外出する機会の少ない心身障がい者とその介護者が、さまざまな土地の季節や風土、伝統を肌で感じ、また多くの人々とふれあい、社会参加することで生きがいを高め、より豊かで潤いのある生活を送ることを目的に実施した。

第1回 期 日 平成25年10月10日～11日

場 所 石川県方面(能登、和倉、コスモアル^{はくい}羽咋)

参加者 21人(障がい者9人、介護者8人、同行者4人)

第2回 期 日 平成25年10月31日～11月1日

場 所 石川県方面(能登、和倉、コスモアル^{はくい}羽咋)

参加者 20人(障がい者11人、介護者5人、同行者4人)

(2) 上田市ファミリー・サポート・センター事業

上田市ファミリー・サポート・センター事業とは、子育ての手助けをして欲しい人と子育てのお手伝いをしたい方が会員として登録し、子育ての相互援助を有償で行う会員組織で、日常的な子育てのお手伝いのほか、子育てに関する講習会や会員相互の交流を深めるための交流会等も開催している。

ア 会員数

依頼会員 494人

(上田市在住又は市内に勤務している方で、概ね3ヶ月から12歳の子どもをお持ちの方)

提供会員 216人

(上田市在住で心身ともに健康で乳幼児及び児童の保育に熱意があり、自宅で子どもを預れる方)

両方会員 120人

(依頼・提供会員の両方出来る方)

イ 年間事業実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
活動回数	115回	120回	106回	111回	114回	119回	136回
活動時間	123時間	76時間	65時間	76時間	72時間	88.5時間	100.5時間
利用会員数	15人	13人	14人	14人	17人	15人	17人
	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
活動回数	91回	103回	87回	66回	86回	1,206回	
活動時間	63時間	78.5時間	67時間	56時間	時間	1,097.5時間	
利用会員数	16人	17人	13人	11人	人	208人	

ウ

研修

会及び会員交流会の開催

(ア) 前期講習会

期 日 5月16日、17日、22日、23日 13:00～15:30

受講者 72人(延べ人数)

内 容 ファミリー・サポート・センターの説明、子どもの遊び、チャイルドシートの着用、子どもの事故と安全対策、子どもの食事・健康管理、子どもの身体の発達と病気、子どもの心の成長とその背景、保育の心・子どもの世話、サブリーダーとの交流

(イ) 前期 全体交流会

期 日 7月6日(土) 10:00～12:00

参加者 18人

内 容 公園散策・あじさい鑑賞

(ウ) フォローアップ研修会

期 日 3月25日(火) 10:00～12:00

参加者 15人

内 容 体組成測定、健康づくりのアドバイス、ウォーキング・ストレッチ

(エ) 後期講習会

期 日 10月17日、18日、23日、24日 13:00～15:30

受講者 52人(延べ人数)

内 容 ファミリー・サポート・センターの説明、子どもの遊び、チャイルドシートの着用、子どもの事故と安全対策、子どもの食事・健康管理、子どもの身体の発達と病気、子どもの心の成長とその背景、保育の心・子どもの世話、サブリーダーとの交流

(オ) 後期全体交流会

後期全体交流会

期 日 11月30日(土)

参加者 29人

内 容 手芸(あやめの花殻を使ったお花づくり)

(カ) 地区交流会

城下地区

期 日 5月29日(水) 10:00~12:00

参加者 10人

内 容 スイーツデコレーション

塩田地区

期 日 6月20日(木) 10:00~12:00

参加者 7人

内 容 五平餅と野菜スープ作り

中央地区

期 日 6月24日(月) 10:00~12:00

参加者 6人

内 容 ゆび人形作り

丸子・武石地区

期 日 7月17日(水) 10:00~12:00

参加者 11人

内 容 ラベンダースティック作り

神科地区

期 日 8月5日(月) 10:00~12:00

参加者 14人

内 容 からくりおもちゃ作り、からくり絵本作り

真田地区

期 日 11月11日(月) 10:00~12:00

参加者 6人

内 容 スイーツデコレーション

(3) 福祉推進事業

ア 地区社協住民会議

地区社協住民会議は、地域住民が主体となって様々な問題を協議し、住民が相互に地域福祉に関心と理解を深め、福祉のまちづくりを目指すために開催されるものである。

地区	期日	場所	内容
東部	11月18日	東部地区防災センター	講演「アザレアンさなだと地域福祉について」
南部	11月25日	南部地区防災センター	講演「包括支援センターの活動を知ろう」
中央	11月8日	海野町会館	講演「特殊詐欺に騙されないために」
北部	11月8日	魚よし	講演「第二次地域福祉活動計画について」 意見交換
西部	4月26日	西部公民館	講演「認知症について」
城下	10月25日	城下地区防災センター	講演「長寿社会をバラ色に」
塩尻	11月21日	塩尻地区公民館	講演「悪徳商法被害防止について」
川辺泉田	10月21日	上田原自治会館	講演「地域福祉の推進について」
神川	10月19日	神川地区公民館	講演「神川の民話・伝説」
神科	9月7日	上野が丘公民館	講演「支え、支えられ、心豊かに人生を楽しむ」 実践発表
豊殿	9月29日	豊殿地域自治センター	講演「特殊詐欺の現状について」
塩田	11月11日	塩田公民館	講演「これからの時代を生き抜く」 実践発表
川西	10月22日	川西公民館	講演「健康寿命を延ばそう ～あなたの元気は、地域の元気～」
丸子	11月21日	丸子文化会館	講演「特殊詐欺の被害の現状と予防対策について」
真田	11月24日	真田総合福祉センター	講演「住民支え合いマップ及び エンディングノートについて」 演習「災害時避難所運営ゲームについて」
武石	11月9日	武石公民館	講演「よりよい老後のために～認知症や寝たきり になっても大丈夫!!～」

(4) 点字・声の広報発行事業

市広報・議会だより、社協報・ボランティア通信の内容を点訳やテープへの録音により、視覚障がい者へ情報提供した。

ア 点字広報

広報うえだ（月2回発行）	利用者	17人
議会だより（年4回発行）	利用者	10人
社協うえだ（隔月発行）	利用者	29人
丸子自治センターだより	利用者	13人

イ 声の広報

広報うえだ（月2回発行）カセット	利用者	18人
CD	利用者	15人

議会だより（年4回発行）カセット 利用者 23人
 CD 利用者 8人
 社協うえだ（隔月発行） 利用者 36人

（5）日常生活自立支援事業

ア 日常生活自立支援事業

上小管内を対象に、認知症の高齢者や障がい者の方々に、判断能力が十分でない方が、住み慣れた地域で安心して生活を送れるよう、福祉サービスの利用などに関わる相談や援助、また日常的な金銭管理のお手伝いをし、自立生活を支援した。

内 容	延件数
認知症のお年寄りに関する相談	726件
知的に障がいのある方に関する相談	681件
精神に障がいのある方に関する相談	892件
その他（成年後見制度に関する問合わせ等）	57件
専門員訪問調査回数	53回
生活支援員援助回数	875回
新規契約数	13件
解約件数	14件
事業開始からの契約件数	133件
事業開始からの解約件数	88件
現在の利用者数	45件

イ 金銭管理・財産保全サービス

高齢者や障がい者の方々が地域で安心して日常生活を送れるように、日常的な金銭管理サービスや書類をお預かりし、生活の支援をした。

契約件数

上田地区センター 4件
 丸子地区センター 8件
 真田地区センター 0件
 武石地区センター 2件

（6）地域ふれあい事業

地域のさまざまな人々がお互いに助けあい交流することにより、住民の連帯感を高めそれぞれの地域の特性に応じた福祉サービスを住民参加により自主的に推進し、明るく活力ある福祉社会を創造し、近隣のつながりを補うことを目的として事業を実施した。

なお、この事業は、「ふれあいのまちづくり事業」として平成3年度から平成7年度までの5年間は、国の指定を受けて事業を進めました。指定終了後も、市の補助事業となり、平成15年から「敬老行事自治会委託事業」と統合され、名称が「地域ふれあい事業」となり、現在に至っている。

ア 自治会福祉活動の推進

<上田地区センター>活動内容

敬老会	……129 自治会	会食会	…… 92 自治会
福祉講座・健康講座	…… 61 自治会	交流会	…… 75 自治会
茶話会	…… 53 自治会	環境整備	…… 40 自治会
文化伝承	…… 32 自治会	スポーツ交流会	…… 33 自治会
世代間交流	…… 46 自治会	友愛訪問	…… 21 自治会
福祉活動会議	…… 18 自治会	ボランティア活動	…… 16 自治会
施設視察研修	…… 7 自治会	配食サービス	…… 7 自治会
見守り、パトロール	…… 9 自治会	住民支え合いマップ	…… 17 自治会
広報活動	…… 7 自治会	サロン	…… 8 自治会
外国籍者との交流	…… 1 自治会	子育て支援	…… 7 自治会
料理教室	…… 2 自治会	その他	…… 4 自治会

<丸子地区センター>活動内容

敬老会	…… 22 自治会	会食会	…… 18 自治会
福祉講座・健康講座	…… 14 自治会	交流会	…… 20 自治会
茶話会	…… 7 自治会	環境整備	…… 11 自治会
文化伝承	…… 24 自治会	スポーツ交流	…… 15 自治会
世代間交流	…… 21 自治会	友愛訪問	…… 19 自治会
福祉活動会議	…… 18 自治会	配食サービス	…… 12 自治会
住民支え合いマップ	…… 3 自治会	サロン	…… 18 自治会
子育て支援	…… 7 自治会	その他	…… 7 自治会

<真田地区センター>活動内容

敬老会	…… 12 自治会	会食会	…… 22 自治会
福祉講座・健康講座	…… 32 自治会	交流会	…… 34 自治会
文化伝承	…… 4 自治会	茶話会	…… 16 自治会
世代間交流	…… 15 自治会	友愛訪問	…… 26 自治会
福祉関係会議	…… 9 自治会	施設訪問	…… 13 自治会

福祉台帳の作成	……	2 自治会	サロン	……	30 自治会
子育て支援	……	2 自治会	その他	……	1 自治会
〈武石地区センター〉活動内容					
敬老会	……	1 自治会	会食会	……	5 自治会
福祉講座・健康講座	……	3 自治会	交流会	……	8 自治会
茶話会	……	1 自治会	環境整備	……	4 自治会
文化伝承	……	6 自治会	スポーツ交流会	……	3 自治会
世代間交流	……	1 自治会	友愛訪問	……	1 自治会
福祉活動会議	……	3 自治会	サロン	……	3 自治会
外国籍者との交流	……	1 自治会	子育て支援	……	7 自治会
料理教室	……	2 自治会	その他	……	7 自治会

イ 住民支え合いマップづくりの取組み

住民支え合いマップは、地図上に災害時に高齢者や障がい者などで避難行動に支援が必要となる方々、いわゆる「要援護者」や、要援護者を支援する「支援者」、避難所、などの地域の資源などの情報を記載することにより、災害時に要援護者の安否確認、避難や支援を迅速に行うための手段として活用するものである。

また、住民支え合いマップの作成活動を通じて、地域内で支援を必要としている人を把握することで、日常的な地域でどんな支え合いができるかなどを考え、地域の福祉向上の視点からもその活用が期待されるものである。

平成 25 年度は、上田市が構築した災害時要援護者登録制度に申し込みをした自治会と上田市と協働し、自治会説明会や支援班会議、更新作業を行った。今後、全自治会で住民支え合いマップを完成させるべく、事業展開していく。

住民支え合いマップ作成実施自治会

災害時要援護者登録制度申し込み自治会	144 自治会（内：平成 25 年度 40 自治会）
住民支え合いマップ完成自治会	151 自治会（内：平成 25 年度 62 自治会）

ウ 福祉推進委員

「地域ふれあい事業」の推進役として福祉推進委員を各自治会から推薦いただき社協会長が委嘱している。自治会役員、民生委員・児童委員と共に地域の実情に応じた様々な福祉活動を行っている。

・福祉推進委員連絡協議会	6月5日（水）、12月17日（火）
・福祉推進委員全体研修会	6月28日（金）
・福祉推進委員講習会	
レクリエーション講座	7月20日（土）、8月3日（土）、8月24日（土）
物作り講座	9月7日（土）、9月14日（土）、9月21日（土）

(7) 上小圏域成年後見支援センター事業

平成24年4月から上田市、東御市、長和町、青木村の4市町村から委託され、上小圏域成年後見支援センターを開設した。認知症・精神障害・知的障害などにより判断能力の不十分な住民が安心して地域で生活できるように成年後見制度の利用促進及び啓発を行い、成年後見制度支援体制の構築し、住民の権利擁護を推進した。

(1) 住民、実務者等からの成年後見制度に関する相談・手続き支援及び行政職員等からの成年後見制度に関する相談・市町村長申立支援

ア 相談件数及び相談者の状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談件数	1 新規	11	10	13	13	13	15	23	14	10	18	16	16	172
	2 継続	63	73	54	39	49	51	51	53	70	83	88	75	749
	合計(延べ件数)	74	83	67	52	62	66	74	67	80	101	104	91	921
	3 実人数(新規)	11	10	13	13	13	15	23	14	10	18	16	16	172
	〃 (継続)	18	15	23	17	20	17	20	23	24	16	27	16	236
方法別	1 来所	23	21	16	6	6	13	16	8	14	20	20	22	185
	2 電話	39	46	27	22	34	30	41	23	38	55	53	38	446
	3 訪問	7	10	15	18	15	22	15	24	24	22	29	26	227
	4 ケース会議	1	5	6	5	6	1	2	3	3	4	2	4	42
	5 その他	4	1	3	1	1	0	0	9	1	0	0	1	21
	合計	74	83	67	52	62	66	74	67	80	101	104	91	921
対象者別	1 認知症高齢者	38	52	26	29	21	33	29	16	19	57	42	32	394
	2 知的障がい者	10	6	8	1	5	4	2	2	13	3	8	5	67
	3 精神障がい者	6	10	5	6	7	3	7	14	26	20	18	12	134
	4 身体障がい者	7	4	6	2	10	1	1	11	7	10	7	7	73
	5 複合	0	0	1	0	8	8	5	10	6	4	9	17	68
	6 任意後見	7	0	7	2	7	9	7	8	4	2	4	1	58
	7 その他	6	11	14	12	4	8	23	6	5	5	16	17	127
	合計	74	83	67	52	62	66	74	67	80	101	104	91	921

(2) 成年後見制度等の普及、啓発

ア 説明会依頼 13件

イ 啓発事業

①成年後見制度講演会「成年後見制度と相続・遺言について」

開催日 平成25年11月23日(土)

開催場所 上田市中心公民館

内容 弁護士 佐藤 友則氏による講演

参加者数 83人

②公証人による講演会「任意後見と遺言ー老後の安心のためにー」

開催日 平成26年2月7日(金)

開催場所 東御市総合福祉センター

内容 公証人 牧野 泰之氏による講演

参加人数 102人

(3) 成年後見人等第三者後見人の紹介・支援

司法書士会他 36 件

(4) 法人後見の受任

法人後見 2 件

3 地域福祉推進事業の評価等

誰もが住み慣れた地域で、安心して生活できるよう成年後見制度をはじめとする権利擁護事業の実施の他、地域ふれあい事業や住民支え合いマップ作成事業、ファミリー・サポート・センター事業などにおいては住民参加のもと社協と協働で行い地域の福祉力の向上や共助の精神の醸成につながっている。

日ごろから自治会役員や民生委員・児童委員、福祉推進委員との連携を進め、地区社協、支部社協活動のより一層の充実につなげていきたい。

地域住民からの課題を汲み上げ、より一層地域に密着したサービス提供を目指し、地域と共に活動していく重要性を感じている。また、地域との連携が、社協会費・共同募金など社協の財政面での支えにつながっていけるように、日々努力を重ね事業周知や理解に努めたい。

4 共同募金配分金事業

戦後の混乱した経済社会状況の中、「国民たすけあい」の精神を基に始められ赤い羽根共同募金運動は、民間社会福祉事業の経済的基礎を確立する上で大きく貢献した。

半世紀以上過ぎた今でも、共同募金にお寄せいただく皆様の善意は、民間社会福祉施設や団体にとって貴重な活動財源になっており、毎年 10 月 1 日から各都道府県共同募金会が主体となって全国一斉に展開される共同募金運動に積極的に協力している。

お寄せいただいた募金は、長野県共同募金会へ一旦集約され、配分決定のあった民間社会福祉施設、団体に翌年度配分される。

共同募金への募金ができる機能がついている自動販売機「ハートフルベンダー」が上田市内において 1 施設 2 台設置され、募金活動が行われた。

平成 25 年度募金総額	29,088,347 円 (目標額 29,135,000 円 実績 99.8%)
内訳	
戸別募金	26,627,756 円 (目標額 26,953,000 円)
法人募金	1,350,927 円 (目標額 1,306,000 円)
学校募金	270,069 円 (目標額 256,000 円)
職域募金	108,599 円 (目標額 92,000 円)
街頭募金	465,337 円 (目標額 330,000 円)
その他	265,659 円 (目標額 198,000 円)

	上田分会	丸子分会	真田分会	武石分会
戸別募金	18,250,520円	5,047,238円	2,350,997円	979,001円
法人募金	1,101,742円	176,185円	73,000円	0円
学校募金	201,668円	37,331円	28,068円	3,002円
職域募金	74,267円	18,894円	10,958円	4,480円
街頭募金	417,305円	22,529円	16,686円	8,817円
その他	208,588円	26,047円	30,019円	1,005円
合計	20,254,090円	5,328,224円	2,509,728円	996,305円

4 共同募金配分金事業の評価等

共同募金は、「国民たすけあい」の精神で行われる募金であり、ボランティア団体やNPO法人、社会福祉施設への助成し、活動支援をすることで、市民へのサービスとして還元されている。

募金実績においては年々若干減少傾向にあり、市民の方々の理解を得られる募金方法や周知の仕方を検討し、配分金を受けている事業についてももっと市民の方々に対してアピールしていく必要があると感じている。

5 生活支援地域福祉事業

(1) 高齢者住宅等安心確保受託事業

この事業は、別所地区にある高齢者向け県営住宅の16世帯の皆さんに、生活援助員を派遣し、生活指導・相談、安否の確認等を行った。

(2) 有償在宅福祉サービス事業

ア 上田有償在宅福祉サービス事業（福祉輸送サービス事業）

利用会員数 41人 協力会員数 10人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用回数	82	71	56	68	71	83	62	57	69	65	69	63	816回
利用会員数	21	22	20	20	17	21	18	18	20	19	19	19	234人
協力会員数	5	5	7	8	7	9	9	8	6	9	8	6	87人

イ 丸子有償在宅福祉サービス事業（福祉自動車送迎事業）

利用会員数 37人 協力会員数 15人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用回数	30	46	46	51	45	45	56	37	43	43	43	54	539回
利用会員数	12	15	15	16	14	15	19	16	19	13	15	15	184人
協力会員数	8	9	10	10	10	9	10	10	10	10	9	10	115人

ウ 真田有償在宅福祉サービス事業（福祉自動車送迎事業）

利用会員数 18人 協力会員数 7人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用回数	22	24	13	18	30	30	34	29	35	19	16	19	289回
利用会員数	9	8	7	6	11	9	10	10	11	5	6	5	97人
協力会員数	6	5	6	6	8	8	5	6	5	4	6	6	71人

エ ご用聞きサービス事業

上田市にお住まいの高齢者世帯及び障がい者世帯を対象に、日常生活を送る上で困っていることなどをご近所の助け合いや支えあいにより支援することを目的とした有償福祉サービスであり、平成22年2月1日から事業を開始した。現在、利用会員と協力会員とのマッチングを進め、多くの協力員の方に御協力をいただき活動を行っている。

	25年度	24年度	23年度
協力会員の登録数	56人	55人	44人
利用会員の登録数	70人	64人	47人
利用回数	304件	219件	162件

【25年度活動内容の内訳】

買物代行 38件 部屋の掃除 46件 風呂場・水周りの掃除 3件
 窓ふき 1件 ゴミ出し 176件 草取り 20件
 雪かき 6件 その他 14件

(3) 丸子高齢者サービスセンター事業

介護認定を受けていない方を対象に、お互いに交流することにより生きがいを高め、介護予防をすることを目的として実施した。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	52	65	54	50	48	51	58	59	49	56	48	57	647人

5 生活支援地域福祉事業の評価等

高齢者や障がい者の方々の日常生活を送る上での困りごとに対して協力員として登録いただいた市民の方々の協力を得ながら支援することを目的に行った。病院の送迎、買い物、ゴミ出しなど利用者のニーズにあった対応ができた。また、日常の外出において単独では公共交通機関の利用が困難な高齢者、障がい者の外出の利便や社会参加の促進につながり、地域の方の力を借り活動を行う中で地域の支えあい、新たな人と人のつながりの構築となった。

活動実績から、徐々に地域に事業の認知が広がっており、利用についての相談や利用会員への登録件数が増加している一方で協力会員の不足が課題となっており、今後、更なる周知活動や他の事業等の連携を図り、協力会員への登録を推進していく必要がある。

6 地域包括支援センター事業

(1) 神川地域包括支援センター事業

専門職の看護師、社会福祉士、主任介護支援専門員の常勤3人と非常勤の介護支援専門員1人で、地域の高齢者の皆さんや家族の方々が、住み慣れた地域で安心して生活を送っていただくことを目的とし、地域福祉の拠点となるよう事業を実施した。

- ・介護保険利用者に対する介護予防プランの作成
- ・高齢者、家族、地域住民等に対する総合的相談及び支援
- ・高齢者虐待防止及び早期発見等の権利擁護事業
- ・支援困難ケースへの対応など介護支援専門員への支援
- ・高齢者主体の自治会活動の啓発

ア 相談内容・人数（電話・来所・訪問）

	総合的な相談	権利擁護	介護予防マネジメント	合計
相談件数	1,162	73	1,893	3,128

イ 事業内容

	回数	内 容
夜間緊急相談実績回数	5	介護保険について、介護相談等
介護予防活動講演、実技	21	健康広場、いきいきサロン、ふれあい広場、おたっしや教室、茶話会等
会議、研修	96	民生委員会、地域包括担当者会議、県・市主催の研修等
ケースカンファレンス (医療との連携)	21	精神疾患のある方の入退院の支援、医療機関から在宅へ向けての支援
介護支援員専門員に対する支援	16	困難支援ケースへの対応・支援
高齢者実態把握	166	主に民生委員からの台帳による訪問
介護予防プラン作成件数	26	生活支援型ヘルパー、配食サービス、訪問指導、生きがい対応型デイサービスのプラン作成

介護予防・日常生活総合支援事業	69	運動機能教室、口腔機能向上教室、ステップアップ教室（口腔）
介護予防支援計画件数 （新予防給付）	1,599	要支援1・要支援2

ウ その他

- (ア) 介護予防地域支援事業として「軽い体操と頭のトレーニングについて」「熱中症予防について」「介護保険について」等、地域で講座を開催した。
- (イ) 民生児童委員会に3職種（看護師、社会福祉士、主任介護支援専門員）交代で参加した。
- (ウ) 実態把握、認定調査を行った。
- (エ) 各種研修会に参加し自己研鑽に努めた。
- (オ) 勤務時間外は携帯電話にて24時間緊急対応体制をとり対応を行った。
- (カ) 民生委員へ地域包括支援センターの活動内容紹介と関係づくりに努めた。
- (キ) 地域ケア会議を3回開催した。

(2) 丸子地域包括支援センター事業

専門職の看護師、社会福祉士、主任介護支援専門員、介護支援専門員の常勤4人と非常勤の介護支援専門員1人で、地域の高齢者の皆さんや家族の方々が、住み慣れた地域で安心して生活を送っていただくことを目的とし、地域福祉の拠点となるよう事業を実施した。

- ・高齢者の実態把握及び介護予防プラン作成
- ・高齢者、家族等に対する総合的相談及び支援
- ・虐待防止及び早期発見等の権利擁護事業
- ・支援困難ケースへの対応など介護支援専門員への支援
- ・高齢者主体の自治会活動の啓発

ア 相談内容・人数（電話・来所・訪問）

	総合的な相談	権利擁護	介護予防マネジメント	合計
相談件数	2,565	379	342	3,286

イ 事業内容

	回数	内 容
夜間緊急相談実績回数	78	介護保険について、介護相談等
介護予防活動講演、実技	74	健康広場、いきいきサロン、ふれあい広場 認知症サポーター養成講座開催等

会議、研修	110	民生委員会、地域ケア担当者会議、県・市主催の研修等
ケースカンファレンス (医療との連携)	41	精神疾患者の入院、認知症、アルコール依存症、 浪費してしまう高齢者の支援について 独居高齢者の退院、退所後の支援について等
介護支援専門員に対する支援	14	困難支援ケースへの対応・支援
高齢者実態把握	342	民生委員からの台帳により訪問
介護予防プラン作成件数	157	生活支援型ヘルパー、配食サービス、訪問指導 生きがい対応型デイサービスのプラン作成 介護予防事業（運動、口腔、総合）
介護予防支援計画件数 (新予防給付)	1,907	要支援1・要支援2

ウ その他

- (ア) おたっしや教室を開催した。
- (イ) 介護予防地域支援事業として、「健康に関するすること・体操」「権利擁護に関すること」「介護保険に関すること」等、地域で講座を開催した。
- (ウ) 高齢者が増えていく中で、認知症の正しい理解をしてもらうために認知症サポーター養成講座の開催し、サポーターの養成をした。
- (エ) 実態把握、認定調査を行った。
- (オ) 各種研修会に参加し自己研鑽に努めた。
- (カ) 児童民生委員会に参加し交流を深めた。
- (キ) 勤務時間外は携帯電話にて24時間緊急対応体制をとり対応を行った。
- (ク) 地域ケア会議（合同）2回、地域ケア会議（個別）9回開催した。

(3) 真田地域包括支援センター事業

専門職の保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員の常勤3人で、地域の高齢者の皆さんや家族の方々が、住み慣れた地域で安心して生活を送っていただくことを目的とし、地域福祉の拠点となるよう事業を実施した。

- ・ 高齢者の実態把握及び介護予防プラン作成
- ・ 高齢者、家族、地域住民等に対する総合的相談及び支援
- ・ 虐待防止及び早期発見等の権利擁護事業
- ・ 支援困難ケースへの対応など介護支援専門員への支援
- ・ 高齢者主体の自治会活動の啓発

ア 相談内容・人数（電話・来所・訪問）

	総合的な相談	権利擁護	介護予防マネジメント	合計
相談件数	985	84	189	1,258

イ 事業内容

	回数	内 容
夜間緊急相談実績回数	6	介護保険について、介護相談等
介護予防活動講演、実技	40	健康広場、いきいきサロン、ふれあい広場、おたっしや教室、認知症サポーター養成講座等
会議、研修	162	民生児童委員会、地域ケア担当者会議、県・市主催の研修、担当者会議等
ケースカンファレンス (医療との連携)	3	個別事例に対するサービス担当者会議開催支援、医療機関から在宅へ向けての支援、認知症独居高齢者の退院の支援について等
介護支援専門員に対する支援	7	支援困難ケースへの対応・支援
高齢者実態把握	143	民生児童委員からの台帳により訪問
介護予防プラン作成件数	100	生活支援型ヘルパー、配食サービス、訪問指導、生きがい対応型デイサービスのプラン作成、介護予防事業、
介護予防支援計画件数 (新予防給付)	1,059	要支援1・要支援2

ウ その他

- (ア) おたっしや教室を開催した。
- (イ) 認知症の正しい理解をしてもらうために、地域住民・小学生を対象に認知症サポーター養成講座を3回開催した。
- (ウ) 地域ケア会議を5回開催した。
- (エ) 老人福祉センターで月1回高齢者支援相談を行った。
- (オ) 健康や介護保険等について健康福祉講座を行った。
- (カ) 男性の自立支援のため、「男性の料理教室」を開催した。
- (キ) 民生児童委員会に出席し、包括支援センターの活動内容の紹介と関係づくりに努めた。
- (ク) 真田地域における地域密着型施設の運営推進会議に出席した。
- (ケ) 看護学生の実習受け入れを行い、人材育成に努めた。
- (コ) 独居・高齢者世帯・認知症高齢者が増えていく中、相談は敏速に専門分野ごと満足いただける相談、情報提供を心がけ対応をした。
- (サ) 真田地域に毎月全戸配布の「真田生き生きふるさと通信」の1ページを担当し高齢者に関わる包括業務の記事を掲載し包括の周知に心がけた。
- (シ) 各種研修会に参加し自己研鑽に努めた。
- (ス) 勤務時間外は携帯電話にて24時間緊急対応体制をとり対応を行った。

(4) 武石地域包括支援センター事業

看護師、社会福祉士、主任介護支援専門員の常勤の専門職 3 人で、地域の高齢者の皆さんや家族の方々が、住み慣れた地域で安心して生活を送っていただくことを目的とし、地域福祉の拠点となるよう事業を実施した。

- ・ 高齢者の実態把握及び介護予防プラン作成
- ・ 高齢者、家族等に対する総合的相談及び支援
- ・ 虐待防止及び早期発見等の権利擁護事業
- ・ 支援困難ケースへの対応など介護支援専門員への支援
- ・ 高齢者主体の自治会活動の啓発

ア 相談内容・人数（電話・来所・訪問）

	総合的な相談	権利擁護	介護予防マネジメント	合計
相談件数	1,638	106	155	1,899

イ 事業内容

	回数	内 容
夜間緊急相談実績回数	19	介護保険について、介護相談等
介護予防活動講演、実技	56	健康広場、いきいきサロン、ふれあい広場 認知症サポーター養成講座開催等
会議、研修	198	民生委員会、地域ケア担当者会議、県・市主催の 研修等
ケースカンファレンス (医療との連携)	81	医療機関、その他との連携 個別事例に対するサービス担当者会議開催支援、 質の向上のための研修、ケアマネージャーへの指 導など
介護支援専門員に対する支援	20	困難支援ケースへの対応・支援
高齢者実態把握	197	民生委員からの台帳、当事者・高齢者支援係から の依頼により訪問
介護予防プラン作成件数	19	生活支援型ヘルパー、配食サービス、訪問指導 生きがい対応型デイサービスのプラン作成 介護予防事業
介護予防支援計画件数 (新予防給付)	892	要支援 1・要支援 2
総合事業ケアマネジメント件数	76	担当地区内総合事業に関するプラン作成

ウ その他

- (ア) おたっしや教室を開催した。
- (イ) 介護予防地域支援事業として「健康に関すること・体操」「権利擁護に関すること」「介護保険に関すること」など、地域で講座を行った。
- (ウ) 地域住民の方に認知症の正しい理解をしてもらうために、認知症学習会（サポーター養成講座）を開催した。（武石地域 1 回）
- (エ) 市武石高齢者支援係と協同して、介護予防の必要性について紙芝居によるの啓発と健康運動士の指導による体操を行った。（武石地域）
- (オ) 地域ケア会議を 6 回開催した。
- (カ) 各種研修会に参加し自己研鑽に努めた。
- (キ) 看護師・社会福祉士実習生の受け入れを行い人材育成に努めた。（年 5 回）
- (ク) 民生児童委員会に 3 職種（看護師、社会福祉士、主任介護支援専門員）交代で参加した。
- (ケ) 勤務時間外は携帯電話にて 24 時間緊急対応体制をとり、対応した。

6 地域包括支援センター事業の評価等

地域の中核機関である相談窓口として、高齢者の福祉や介護、権利擁護に関する相談や関係機関との連携を強化し、高齢者やその家族が住み慣れた地域で安心して生活が送れるよう地域福祉を推進した。地域ケア会議の開催や地域の民生委員と居宅支援事業者との交流会を行い、情報交換を行い好評であった。また、地域の住人向けに成年後見制度の講座を開催し、制度の普及啓発に努めた。

困難ケースにあつては、行政と連絡を密にし複数で対応するようにして万全の対応に心掛けた。

長期・中期・短期の目標等を設定し、日々のミーティングの中で業務の振り返りや情報の共有を行い目標達成に向けて努めていきたい。

7 介護保険事業

(1) 塩田西デイサービスセンター事業

認知症のお年寄りで、家庭での介護が困難な方に対し、日中お預かりすることにより、お年寄り同士のふれあいや食事、入浴等を提供し、介護者の負担軽減を目的に実施した。

現状として、利用者数が年々減少傾向にあった。また、施設の老朽化も進み、他事業者の参入もあり、認知症専門のデイサービスとして一定の役割を果たしてきたため、設置主体である上田市と協議し、平成 25 年 10 月から事業については休業としている。

ア 利用状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
開所日数（日）	26	27	25	27	27	23

利用者（人）	101	108	104	85	73	63	
ボランティア数（人）	0	7	0	6	0	5	
1日平均利用者（人）	3.9	4.0	4.2	3.1	2.7	2.7	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数（日）	1						156日
利用者（人）	2						536人
ボランティア数（人）	0						18人
1日平均利用者（人）	2						3.4人

イ 主な行事

○ 戸外散策

- ・桜の花見物 4月5日、13日 7人
- ・あじさいの花見物 7月18日 4人

○ 室内行事

- ・七夕 7月7日 4人
- ・誕生会 4月5日 1人

ウ ボランティア

- ・コスモス会 5月20日、7月22日、8月19日 3人
- ・ギターフォーラム 隔月1回
- ・花の苗植草取り個人ボラ 6月

(2) 中央デイサービスセンター事業

身体の障がい、虚弱等のため介護が必要な方が日中通所して、日常動作訓練・給食・入浴・レクリエーション等のサービスを受けることにより、心身機能の維持向上を図るとともに、社会的孤立感の解消・介護者の負担軽減を図ることを目的に実施した。

また、日常生活動作、特に立ったり、座ったり、階段を上ったりする場面に使われる筋肉を意識して運動するように目的を明確化している。

ア 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
開所日数（日）	26	27	25	27	27	25	
利用者（人）	383	398	399	440	445	417	
ボランティア数（人）	10	15	9	12	15	14	
1日平均利用者（人）	14.7	14.7	15.9	16.2	16.4	16.6	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数（日）	27	26	25	24	23	26	308日
利用者（人）	448	433	376	361	351	398	4849人
ボランティア数（人）	8	8	74	12	9	11	197人

1日平均利用者(人)	16.6	16.6	15.0	15.0	15.2	15.3	15.6人
------------	------	------	------	------	------	------	-------

イ 主な行事

・お花見	4月10日～18日	50人
・こいのぼり見学	4月13日、15日	23人
・薔薇お花見	6月5日～11日	39人
・蓮お花見	7月16日～22日	31人
・あじさいお花見	7月16日	16人
・七夕祭り	8月7日	18人
・運動会	10月10日～16日	70人
・紅葉ツアー	11月8日、13日、14日	43人
・お楽しみ会	12月13日、14日、16日～19日	89人
・まゆ玉作り	1月15日、16日	28人
・節分豆まき	2月3日	19人
・ひな祭り	2月25日～3月3日	92人
・お誕生日会	毎月	

ウ ボランティア

・なかよしグループ	(月1回)
・ギターフォーラム	(隔月1回)
・ハーモニカ	(月2回)
・サンピアン	(年4回)
・四ツ葉会	(年3回)
・朗読	(月2回)

エ その他

・スプリングチャレンジボランティア受入	3人
・介護体験学生受入	1人
・職場体験学生受入	3人
・介護実習生受入	1人
・看護学生実習生受入	37人

(3) 神川デイサービスセンター事業

この事業は身体の障がい、虚弱等のため介護が必要な方が日中通所して、日常動作訓練・給食・入浴・レクリエーション等のサービスを受けることにより、心身機能の維持向上を図るとともに、社会的孤立感の解消・介護者の負担軽減を図ることを目的に実施した。

ア 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
開所日数(日)	26	27	25	27	27	25	
利用者(人)	471	474	450	511	499	478	
ボランティア数(人)	15	23	45	18	30	22	
1日平均利用者(人)	18.1	17.5	18.0	18.9	18.4	19.1	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数(日)	27	26	25	24	23	26	308日
利用者(人)	487	502	451	425	403	482	5,633人
ボランティア数(人)	48	22	65	18	31	33	370人
1日平均利用者(人)	19.0	19.3	18.0	17.7	17.5	18.5	18.3人

イ 主な行事

・お花見ドライブ	4月10日～20日	55人
・こいのぼり	4月22日～26日	50人
・信濃国分寺 御開帳	5月6日～10日	48人
・つつじ見物	5月15日～19日	47人
・薔薇園	6月15日～18日	48人
・蓮の花見	7月2日～4日	38人
・七夕まつり	8月5日～10日	121人
・上が野丘コンサート	7月6日	15人
・運動会	10月7日～12日	118人
・紅葉巡り	10月21日～10月26日	58人
・利用者忘年会	12月2日～7日	105人
・節分	2月3日	11人
・雛祭り	3月2日	16人
・神川小学校との交流会	年6回	
・一中交流会	年3回	
・誕生日会	随時	

ウ その他

・ギターフォーラム	隔月1回
-----------	------

- ・義民太鼓 年 2 回
- ・ドルチェの会 年 2 回
- ・フラダンス 年 2 回
- ・江戸芸かつぽれ 年 2 回
- ・シルバーバンド 年 2 回
- ・武道と舞踊 年 1 回
- ・お話しボランティア 月、水、木曜日 週 1 回
- ・夏のボランティア大作戦受入 2 人
- ・スプリングチャレンジボランティア受入 2 人
- ・介護体験学生受入 8 人

(4) 武石デイサービスセンター事業

在宅で生活している要介護、要支援の高齢者に利用していただき、食事や入浴のほか、リハビリ体操、レクリエーション等を通じて残存機能の維持向上を目指すとともに、季節ごとの行事や利用者同士のふれあいを大切にしたりした行事をたくさん取り入れ、心身ともに活性化が図れるようサービス提供に努めた。また、在宅生活を維持するため、介護者からの相談に乗りながら負担軽減に努めた。

ア 利用状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
開所日数 (日)	30	31	30	31	31	28
利用者 (人)	516	537	544	588	572	534
ボランティア数 (人)	9	7	5	11	0	1
1 日平均利用者 (人)	17.2	17.3	18.1	19.0	18.5	19.1

	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
開所日数 (日)	31	30	30	28	27	31	358 日
利用者 (人)	590	593	583	498	427	525	6,507 人
ボランティア数 (人)	9	5	23	10	4	7	91 人
1 日平均利用者 (人)	19.0	19.8	19.4	17.8	15.8	16.9	18.2 人

イ 主な行事

(ア) 施設内

- ・柏餅づくり (4 回) ・やすらぎ喫茶 (4 回) ・おやつ作り (4 回)
- ・保育園児との七夕まつり (3 回) ・やすらぎ祭り (4 回) ・手づくな (4 回)
- ・おはぎづくり (4 回) ・園児との交流会 (6 回) ・文化祭準備 (4 回)
- ・忘年会 (3 回) ・正月準備 (4 回) ・まゆ玉づくり (4 回) ・園児との豆まき (4 回)

- ・ひなまつり（4回） ・ぼたもち作り（4回） ・武石小4年生との交流会（1回）
- ・依田窪南部中学生との交流会（2回） ・手打ちうどん実演（4回）
- ・そば打ち実演（1回） ・寿司バイキング（2回）

（イ）屋外散策

- ・お花見（3回） ・紅葉狩り（3回） ・喫茶会（4回）

（ウ）誕生会

- ・毎月1回（該当者 写真撮影）

（エ）ボランティア行事

- ・大正琴（4回） ・日本舞踊（3回） ・ハワイアンダンス（1回）
- ・ギターフォーラム（3回） ・なかよしクラブ（3回） ・フレンズ（1回）
- ・chi-ku 竹庵（3回、歌、話し相手、手作りプレゼント） ・アルパ演奏（1回）
- ・手話ダンス（1回）

7 介護保険事業の評価等

通所介護においては、定員12人、25人、35人と3通りの事業を展開してまいりましたが、新規事業所も増える中、定員確保が難しい状況でした。特に塩田西デイサービスセンターはその影響が多く、平成25年10月1日をもって休業の状態となった。

各事業所としては、利用者増を図るため職員間でアイデアを出し合い各事業所の新聞を作りPR活動をした。また、日々の利用の中で、季節に応じた外出支援や新しく取り入れた企画を利用者に提供し、それぞれの特徴を生かした対応をしている。そういった中で職員も資質の向上のため、研修に参加した。

8 相談事業

（1）上田相談事業

ア 心配ごと相談

- ・相談員：1人
- ・相談日：毎週月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分
- ・開設日数：245日
- ・相談件数：28件
- ・相談内容：職場の悩み、家族のこと他

イ 電話相談「はればれ電話」

- ・相談員：1人
- ・相談日：毎週月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分
- ・開設日数：245日
- ・相談件数：190件

・相談内容：近所とのトラブルや苦情、生活の不安 他
ウ 法律相談（予約制）

- ・相談員：弁護士1人
- ・相談日：毎月第3土曜日 午前10時～正午
- ・開設日数：11日（2月の相談は大雪のため中止）
- ・相談件数：66件
- ・相談内容：不動産、相続、契約、離婚、土地境界他

エ 結婚相談

- ・相談員：4人
- ・相談日：毎週水曜日午前10時～午後3時、毎月第2土曜日午前10時～午後3時
- ・開設日数：62日
- ・相談件数：2,148件（電話相談含む） 来所者数(延べ)916人
- ・登録者(実活動者数) 男性419人 女性171人 計590人
- ・成立組数：見合い75組 結婚2組 婚約4組

(ア)ながの結婚マッチングシステム

長野県内でマッチングシステムに登録者している男女を、インターネットで検索し紹介するシステム

上田での登録者数 男性22人 女性5人

お見合い 3組(長野市2回 駒ヶ根市1回) 成立0組

(イ)お見合企画

「国際音楽村 ラベンダー畑でステキな出会いを」

45歳までの男女を対象

6月29日 信州国際音楽村 花風里(はなかざり)

参加者 男性17人 女性15人 カップル成立4組

「限定 お見合い企画」

男性45歳～50歳前後を対象

9月21日 上田市ふれあい福祉センター 喫茶ぽすと

参加者 男性6人 女性5人

「クリスマス ケーキ&カクテルパーティー」

45歳までの男女を対象

12月7日 上田東急イン クリスタルホール

参加者 男性29人 女性29人 カップル成立10組

(2) 丸子相談事業

ア 心配ごと相談

- ・相談員：12人
- ・相談日：毎月8日（8日、18日） 午前9時～正午
- ・開設日数：24日
- ・相談件数：14件
- ・相談内容：財産、離婚、借金問題、就労、DV等

イ 法律相談

- ・相談員：弁護士1人 他1人
- ・相談日：2ヶ月に1回を目安に実施 午後1時30分～3時30分
- ・開設日数：6日
- ・相談件数：20件
- ・相談内容：財産問題、遺産相続、離婚、借金、金銭トラブル、家族問題

ウ 結婚相談

- ・相談員：3人
- ・相談日：毎月8日 第4土曜日 午前9時～正午
- ・開設日数：24日
- ・相談件数：60件
- ・成立組数：見合い26組

（3）真田相談事業

ア 心配ごと相談

- ・相談員：11人
- ・相談日：毎月第1土曜日 午前9時～正午
- ・開設日数：12日
- ・相談件数：11件
- ・相談内容：土地、登記、相続、財産、民事、その他

イ 結婚相談

※平成25年度から上田地区と合同で上田市ふれあい福祉センターで開催

（4）武石相談事業

ア 心配ごと相談

- ・相談員：1人

- ・相談日：毎週 月曜日～金曜日 午前9時～午後4時
- ・開設日数：243日
- ・相談件数：11件
 - ・相談内容：仕事について、家族内の問題、隣人との問題

イ 結婚相談

※平成25年度から丸子地区と合同で丸子ふれあいステーションで開催

8 相談事業の評価等

市民の方からの身近な相談窓口として様々な生活上の相談に応じ内容によっては他の専門機関等と連携を図りながら市民の方が不安や悩みを抱え込まずに解決につながるよう努めた。

相談日には多くの登録者が相談に訪れている。また、婚活イベントを開催し、出会いの場の提供をした。毎年結婚成立の実績を出している。

9 たすけあい資金貸付事業

小口一時生活資金として貸し付ける社協独自の制度で、貸付限度額は5万円まで、無利子である。

貸付金状況

	相談件数	貸付件数	貸付額
上田地区	107件	34件	1,460,000円
丸子地区	3件	1件	50,000円
真田地区	2件	0件	0円
武石地区	1件	0件	0円
合計	113件	35件	1,510,000円

9 たすけあい資金貸付事業の評価等

行政や民生委員・児童委員など関係機関との連絡調整を密にし、貸付決定後も償還指導を含む継続的な相談を行うことにより、低所得・高齢者・障がい者世帯の自立更生につながるよう資金の貸し付けと必要な相談支援を行った。

長期滞納者への督促状の送付や電話での償還指導を継続して行っているが、償還になかなか結び付いていないのが課題である。

10 ボランティア地域活動センター事業

この事業は地域住民のボランティア活動に関する理解と関心を深めるとともに、その育成と組織化を促進することを目的として実施した。

今年度から、上田市ボランティア地域活動センター運営委員会を設置し、センター事業の充実に向けて取り組んだ。

(1) 上田ボランティア地域活動センター事業

ア ニーズの把握

- (ア) 相談活動によるニーズの把握
- (イ) 社会福祉施設、ボランティア団体のニーズの把握
- (ウ) 企業の社会貢献に関する状況把握

イ 広報、啓発

(ア) 情報提供

啓発のためのボランティアセンターパンフレット配布、ボランティアコーナー掲示
板・社協ホームページでのボランティア情報提供

(イ) 新聞等報道機関の活用

信濃毎日新聞、東信ジャーナル、信州民報、週刊うえだ、上田ケーブルビジョン等

(ウ) 収集活動

整理済み古切手 46.84kg

海外支援団体（ジョイセフ・日本キリスト教海外支援協力会）及び国内 NPO 法人（誕生日ありがとう本部）へ送付

(エ) ボランティア保険等の普及、保険への加入促進

- ・ボランティア活動保険加入者 2,292 人
- ・ボランティア活動行事用保険加入者 36 件 3,955 人
- ・**上田市福祉ボランティア保険掛金補助交付制度代理事務による補助** 1,870 人

ウ 養成研修、組織化

(ア) 各種講座の開催

- ・お話し相手ボランティア養成講座（全 3 回） 参加者 29 人
- ・災害時携帯電話講座 参加者 10 人
- ・笑いヨガ 参加者 25 人
- ・プレクストーク使い方講座 参加者 17 人
- ・モチーフ編みボランティア養成講座（全 2 回） 参加者 16 人
- ・点訳ボランティア養成講座（全 5 回） 参加者 12 人

(イ) 上田市ボランティア地域活動センター運営委員会の開催

7月29日 第1回運営委員会 委員委嘱、センター内容等

11月29日 視察研修（長野市ボランティアセンター）

第2回運営委員会 視察感想等

1月17日 第3回運営委員会 事業計画（案）、予算（案）等

（ウ）上田ボランティア連絡協議会の活動支援

平成25年度から、事務局を上田ボランティア地域活動センターに設置し、事業の充実に向けて取り組んだ。

・交流会、講演会 10月20日

講演会「子供の心に寄り添って」

チャイルドライン代表理事 太田 久美 氏

・視察研修会支援

3月10日 上田明照会 相談支援センターほっと・ハート視察

（エ）研修会の開催

・上小ブロックボランティアフォーラム

12月14日 東御市総合福祉センター

一般参加者（上田・東御・青木・長和） 130人

エ 社会資源活用、ネットワーク促進

（ア）うえだ市民ふれあい広場

実行委員会による事業の運営

6月4日 第1回実行委員会

7月31日 第2回実行委員会

9月19日 第3回実行委員会

10月5日 第35回うえだ市民ふれあい広場開催 場所 上田創造館

10月31日 第4回実行委員会

実行委員 40団体 約380人 小・中・高校生ボランティア 25人

来場者 約3,500人

（イ）ひざ掛の配布

制作 モチーフの会

配布時期 12月 対象者：高齢者及び重度障がい者

配布地区 神科地区

（配布地区は上田地区内を毎年順番に回している）

配布数 182枚（配布には各地区の民生委員さんの協力をいただいた）

オ 福祉教育の推進

（ア）社会福祉普及校の指定

内 容：児童・生徒が体験を通じて、社会福祉の理解と関心を高め、日常生活の中に相互扶助、社会連帯の思想を浸透させることを目的に、小・中学校及び高等学校を対象に、社会福祉の普及を推進する。普及校1校に対し活動費50,000円の補助を行う。それぞれ地域の実情に合わせ、特性を生かした活動を展開した。

指定校：小学校16校、中学校7校、高校3校 計26校

(イ) 出前福祉体験事業

内 容：福祉体験を目的とした活動について、資材貸出、講師紹介及びボランティア団体との交流（点字、手話、絵手紙など）やハンディキャップ体験（車いす、アイマスク体験、高齢者擬似体験など）を学校等地域に出向いて行った。

対 象：小学校7件、中学校4件、高等学校1件、PTA1件、自治会1件

計 14件19回 対象者1,518人

(ウ) 福祉体験プログラムの展開

・夏のボランティア大作戦（対象中学生以上）

内 容：ボランティア活動を体験することにより、生徒、学生の視点から地域の課題を見つめ、自分たちが出来ることは何かを主体的に考え活動することを目的に実施した。

◇事前研修

7月27日（土）上田市ふれあい福祉センター

事前研修・講演会

講師（福）うえだはら敬老園デイサービスセンター 管理者兼生活指導員

演題 「ボランティア経験と出会い」 石坂 信彦 氏

参加者 78人

◇施設でのボランティア体験活動

7月28日～8月16日の間、一人1施設で2日以上での体験活動を行う。

受入先福祉施設 29施設 参加者100人

◇活動報告会

8月24日（土）上田市ふれあい福祉センター

自分とは違った体験を知ったり、意見交換することで、共感したり異なった感想を聞いて、参加者一人ひとりが活動を振り返る機会となった。

参加者 9人

・スプリングチャレンジボランティア（対象中学生以上）

内 容：春季休暇を利用し、ボランティア活動を体験することにより学生の視点から地域の課題を見つめ、自分達に取り組めることは何かを主体的に考え

活動できることを目指し、事前研修では、災害時、自分ならどう判断するかについて考える研修として「災害クロスロード」を行った。

・事前研修

3月16日（日）上田市ふれあい福祉センター

講師 長野県危機管理部危機管理防災課 防災指導員

番 場 一 雄 氏

参加者 98人

・施設でのボランティア体験活動

3月24日～3月31日の間、一人1施設で2日以上の体験活動を行う。

受入先福祉施設 32施設 参加者 135人

カ 災害時の訓練、協力

(ア) 災害救援ボランティア登録の受付

登録者総数 個人 360人 団体 18団体(429人)

(イ) 災害救援ボランティア研修会

「平成25年度 災害救援ボランティアセンター立ち上げ訓練」

8月31日（土）上田市ふれあい福祉センター

ボランティアセンター受付状況

	ボランティア登録		災害救援ボランティア登録		新規ニーズ 依頼受付 (件)
	個人 (人)	団体 (団体・人)	個人 (人)	団体 (団体・人)	
4月	3	1(39)	1	0	17
5月	6	2(10)	2	0	19
6月	9	1(23)	0	0	21
7月	4	2(19)	1	0	9
8月	3	2(20)	4	0	11
9月	2	3(33)	0	0	16
10月	5	2(27)	0	0	16
11月	2	0	0	1(19)	15
12月	5	0	1	0	15
1月	4	1(50)	0	0	31
2月	5	0	0	0	33
3月	5	3(36)	0	0	24
合計	53	17(257)	9	1(19)	227
累計	973	216(14,623)	360	18(429)	

ボランティア活動保険加入状況

	ボランティア 活動保険(人)	ボランティア 行事用保険(人)
4月	1,429	920
5月	135	50
6月	268	378
7月	99	133
8月	55	406
9月	34	542
10月	11	928
11月	41	226
12月	8	133
1月	2	120
2月	5	50
3月	4	69
合計	2,091	3,955

ボランティアニーズのマッチング状況

	在 宅		施 設		その他		合 計	
	新規・継続 ニーズ (件)	ボランティア 活動者 (人)	新規・継続 ニーズ (件)	ボランティア 活動者 (人)	新規・継続 ニーズ (件)	ボランティア 活動者 (人)	新規・継続 ニーズ (件)	ボランティア 活動者 (人)
4月	13	23	60	62	27	82	100	167
5月	16	27	51	58	26	90	93	175
6月	12	21	50	66	27	89	89	176
7月	16	27	55	64	27	86	98	177
8月	13	22	43	61	27	78	83	161
9月	17	29	53	59	25	83	95	171
10月	12	20	67	83	14	47	93	150
11月	12	21	56	64	14	40	82	125
12月	11	18	71	91	15	35	97	144
1月	11	19	66	73	11	34	88	126
2月	10	19	83	98	14	33	107	150
3月	9	17	83	87	17	51	109	155
合 計	152	263	738	866	244	748	1,134	1,877

(2) 丸子ボランティア地域活動センター事業

ア ニーズの把握

- (ア) 相談活動によるニーズの把握
- (イ) 社会福祉施設、ボランティア団体のニーズの把握
- (ウ) 企業の社会貢献に関する状況把握

イ 広報、啓発

- (ア) 「社協うえだ」へボランティア情報の掲載
年6回(2月、4月、6月、8月、10月、12月)上田市内全戸へ配布
- (イ) 新聞等報道機関の活用
信濃毎日新聞、信州民報、東信ジャーナル、週刊うえだ、丸子テレビ、丸子有線
- (ウ) 「鈴木クヅ文庫」による啓発CD、書籍などの貸出(50件)
- (エ) 収集活動
使用済み古切手
整理後、日本キリスト教海外支援協力会へ送付
- (オ) ボランティア保険等の普及、加入促進

- ・ ボランティア活動保険 486 人
- ・ ボランティア活動行事保険 11 件 320 人
- ・ 上田市福祉ボランティア保険掛金補助交付制度代理事務による補助 483 人

ウ 養成研修、組織化

(ア) 各種講座の開催

- ・ ふれあい養成講座の開催 (全 3 回)
 - 笑いヨガ 参加者 18 人
 - マジックバルーンアート 参加者 17 人
 - アヤメの殻の創作フラワーづくり 参加者 18 人
- ・ 手話講習会 (全 5 回) 参加者 10 人

(イ) 丸子ボランティア連絡協議会

加入団体 22 団体 加入者数 (個人ボラ含) 941 人

(ウ) ボランティア育成・組織化

- ・ 丸子地域の中学 3 年生に向け「ポプリの受験お守り」製作
 - 丸子中学校、丸子北中学校受験生に向けポプリのお守りを贈呈
 - (贈呈生徒数 233 人 製作にかかわったボランティア数 13 人)

エ 社会資源活用、ネットワーク促進

○丸子ボランティア連絡協議会の活動支援

(ア) 清掃美化活動

6 月 29 日 (土) 参加者 70 人

依田川河原のアレチウリ駆除活動

(イ) いきいきフェスティバル 2013 (健康と福祉の祭典)

7 月 6 日 (土)

わたあめ、ポップコーンづくり、会場係他で参加

(ウ) 視障協マッサージサービス

8 月 18 日 (日) 参加者 19 人

視障協の方によるマッサージサービス

(エ) 視察研修

9 月 30 日 (月) 参加者 20 人

辰野町ボランティアセンター視察研修会

(オ) げんきまるこ産業フェスタ 2013

10 月 6 日 (日)

バザー販売で参加

(カ) 丸子災害救援ボランティア研修会

11月10日(日) 参加者 68人

災害クロスロード ～頭と心を使う防災訓練～

講師 長野県危機管理防災課 防災指導員 番場 一雄 氏

(キ) 丸子ボランティア連絡協議会定期交流会

12月7日(土) 参加者 144人

講演会 講師 教育食育アドバイザー

大塚 貢 氏

演題 「食でかえませんか 健康な心とからだ」

～子どもはかしこく 大人は長生きを～

交流会 第四子供劇団、折り紙クラブ、菜の花会、なごみの会の発表

丸子中央小学校合唱班の発表

(ク) ボランティア育成事業

3月3日(月) 参加者 18人

救急法講習会(心肺蘇生法、AED講習会)

(ケ) 丸子ボランティア連絡協議会代表者会・役員会・三役会へ参加

(コ) 外国籍市民や母子家庭などへ支援米配布の支援

○その他活動の支援

(ア) まるこモチーフの会

膝掛の配布(東西内、丸子第一、第二、武石地域、施設等 197枚配布)

(イ) Eキャップの会(やさしい帽子の会)

闘病生活を送るガン患者の方にタオルの帽子を提供

(佐久病院、依田窪病院、増田医院、浅間病院他 290枚配布)

(ウ) 傾聴ボランティア・まるこ

傾聴の技術により話を聞いてほしい人に寄り添うボランティア活動

(個人宅、施設含め 97件訪問)

オ 福祉教育の推進

(ア) 社会福祉普及校の指定

児童・生徒が体験をとおして、社会福祉への理解と関心を高め、日頃から助け合いの気持ちを育むことを目的として指定した。普及校1校に対し活動費50,000円までの補助を行う。(小学校4校、中学校2校、高校1校)

(イ) 出前福祉体験事業

内 容：学校における福祉体験を目的とした活動について援助し、講師派遣、ボランティア団体との交流（点字・手話）、車いす体験、高齢者疑似体験などを行った。

対 象：小学校 5 件、中学校 5 件 計 10 件 対象者 834 人

(ウ) 福祉体験プログラムの展開

・サマー体験ボランティア 2013

内容：夏の長期休暇等を利用して、福祉施設やボランティア団体での体験学習をとおして今後の学校や地域社会におけるのありかたを考える事を目的として実施した。

○事前研修会

7月21日（日） 参加人数 52人

講 師 敬老園 教育課長 斎藤 ひとみ氏

演題 「ボランティアの心構え」

○施設、病院ボランティア体験 （受入れ 10施設 参加者 10人）

○ボランティア団体での体験 （受入れ 5団体 参加者 25人）

○「リフレッシュ合宿」参加 （参加者 18人）

ボランティアニーズ状況

	施 設		学校（保育）		その他		合 計	
	ケース （件）	ボラン ティア （人）	ケース （件）	ボラン ティア （人）	ケース （件）	ボラン ティア （人）	ケース （件）	ボラン ティア （人）
合計	17	119	18	70	20	91	55	280

その他問い合わせ状況 1,300件（配食・移送含む）

ボランティアセンター利用状況

	使用団体	使用人数	内夜間利用者	内休日利用者
4月	20	154	45	52
5月	17	132	33	64
6月	19	134	43	49
7月	16	105	33	31
8月	17	110	34	36
9月	19	126	49	38
10月	15	112	37	32
11月	15	118	47	46
12月	15	107	49	27
1月	15	100	26	25

2月	13	87	17	29
3月	19	120	32	38
合計	200	1,405	445	467

(3) 真田ボランティア地域活動センター事業

ボランティア・市民・学校・行政などさまざまな団体、個人からのボランティア活動に関する相談や問い合わせがあった。

ア ニーズの把握

(ア) 社会福祉施設、ボランティア団体、NPO 法人の把握

(イ) 相談による把握

イ 広報、啓発

(ア) 啓発のためのチラシを作成し福祉体験授業に使用した。

- ・エスコートガイド（車いす、アイマスク）
- ・高齢者疑似体験のチラシとポスターを作成
- ・真田地域の福祉施設の概要説明書を作成
- ・イベントのチラシを全戸に配布

(イ) 収集活動（使用済み切手、アルミ缶、書き損じはがき、エコキャップ）にあわせて啓発をし協力した。

(ウ) 報道機関（信濃毎日新聞、週刊うえだ、東信ジャーナル、有線放送）を活用しボランティア活動等を周知した。

(エ) 福祉用具を学校へ貸出しした。

車いす 54 台 高齢者疑似体験 5 回（あいおい損保より 5 セット借用）

アイマスク 76 枚 点字器 15 台

(オ) ボランティア保険の普及と加入促進

- ・ボランティア活動保険加入 15 団体 237 人 個人 1 人
- ・ボランティア行事用保険加入 18 件 1,776 人加入
- ・福祉有償サービス傷害保険加入 10 人

ウ 養成研修・組織化

(ア) 各種講座の開催

朗読ボランティア養成講座 5 回開催 述べ 75 人参加

(イ) ボランティア連絡協議会加入者数（団体 19、施設 2）

エ 社会資源活用、ネットワーク促進

(ア) サマーチャレンジボランティア、ふれあい広場、清掃ハイキングを地域の福祉施設、学校、地域住民、NPO 法人と連携し開催することができた。

(イ) いきいきサロンへの協力

- ・講師や話の内容を説明した冊子を作成し、活用していただいた。
- ・萩、横尾、十林寺、田中、横道のいきいきサロンへ出向き健康体操や手遊びをして交流することができた。

(ウ) 地域清掃ハイキングを実施した。

福祉施設、福祉団体、学校、保育園、幼稚園、ボランティア団体が参加し、真田地域の環境美化を守るため春と秋の2回行った。また、特別養護老人福祉施設で豚汁の提供を受け、参加者全員で施設内の庭をお借りして、昼食を食べながら年代を超えての交流を図ることができた。

第36回 5月25日(土) 長、傍陽、本原地域の県道・国道沿い 参加者110人

第37回 10月12日(土) 長、傍陽、本原地域の県道・国道沿い 参加者94人

(エ) 第26回ふれあい広場 in さなだへの参画

9月14日(土) 真田総合福祉センター、真田体育館(3回実行委員会開催)

地域住民総参加で、世代を超えて交流を図ることができた。また、住民からバザー用品の提供を受け、売上金の一部を岩手県共同募金会を通じて、いわて沿岸地域応援募金へ寄付することができた。

一般入場者数 700人、ボランティア数260人(内中学生ボランティア49人)

(オ) ボランティア連絡協議会の活動支援

- ・役員会、代議員会への協力
- ・7月3日(水) 福島県へ行き、復興の支援について研修を行った。
- ・7月20日(土) 交流会 写経
- ・1月25日(土) 交流会 薬膳料理講習会

真田地域以外からの参加者があり、お互いの活動を話しながら料理をすることができた。

(カ) 福祉推進委員、福祉委員の研修の場で、ボランティア活動について話をした。

オ 福祉教育の推進

(ア) 福祉体験学習

- ・4月23日(火) 菅平中学校事前研修 1年生6人が参加
真田地域の福祉施設の見学を行い、自分がボランティア活動をしたい施設を調べた。
- ・5月15日(水)、16日(木) 菅平中学校1年生6人がボランティア体験
障害者施設、デイサービスセンター、特別養護老人ホームで行った。

(イ) サマーチャレンジボランティア

夏休みを利用してボランティア活動のきっかけ作りをしていただくことと、地域にはどのような施設があり、活動しているのか理解し、ボランティア活動をしてご

利用者さんとできるのか考える機会にさせていただくことを目的に中学生を対象に行った。

- ・7月26日(金)、29日(月) デイサービスセンター、特別養護老人福祉施設、障害者施設で体験
- ・8月3日(土) 国際協力団体の活動協力
絵本翻訳作業の絵本作り、バザーのお手伝い

(ウ) 小学生の福祉体験学習(出前講座)

- ・10月1日(火) 本原小学校5年生 41人 車いす体験、アイマスク体験
6年生 43人 手話体験、高齢者擬似体験
視覚障がい者、聴覚障がい者の方と個人ボランティアに協力をしていただき実施した。
- ・11月14日(木)、15日(金)、26日(火) 真田中学校1学年 延べ172人
車いす体験、アイマスク体験
- ・11月22日(金) 長小学校6年生 22人 高齢者擬似体験
個人ボランティアに協力をしていただき、お年寄りの体の変化を体験した。
- ・11月28日(木) 長小学校4年生 23人 アイマスク体験
視覚障がい者の広沢さんに1時間御講演をしていただき、その後、個人ボランティアの協力でアイマスクをつけて校内を歩き、広沢さんに視覚障がい者を案内する時の注意をお聞きした。
- ・12月3日(火) 長小学校4年生 23人 ブラインドサッカー
視覚障がい者の中沢さんに、ブラインドサッカーを教えていただき、体験をした。
- ・12月16日(日) 傍陽小学校 4年生 19人
ボランティアグループでんでん虫の会2人に協力をしていただき、点字の学習をした。また、点字の学習の後、アイマスクをつけて校内と校庭を歩いて目が見えないことの理解を深めることができた。

カ ボランティア活動状況

- ・特別養護老人ホーム、デイサービスセンター、知的障がい者生活施設へ派遣
日赤奉仕団、個人ボランティア 延べ人数 160人
- ・保育園へボランティアグループの派遣 1グループ 4人 3回
- ・小学校へ福祉体験個人ボランティア 7人

キ 災害時の訓練、協力

- (ア) 避難所運営ゲーム(HUG)の実施 11月24日(日) 参加者数 80人
自治会長、福祉推進委員、福祉委員、ボランティア連絡協議会と連携災害が起きた時を想定し、避難者の避難場所の割り振りなどを研修した。

内容を変えても繰り返し毎年続けていくことが必要と多くの声をお聞きす
ることができた。

講師 長野県危機管理部危機管理防災課 防災指導員
番 場 一 雄 氏

ク その他

(ア) 上小ブロックボランティアフォーラムへの参加 6人

午前 講演会「コミュニティづくりは共感がいのち！」
～あなたの” いいね” 教えてください～

講師 地域づくりネットワーク上小地区協議会会長 竹内 充氏

午後 情報交換会「ワールドカフェでおしゃべり」

実行委員はボランティア連絡協議会代議員2人が3回出席

(イ) 童謡・唱歌を楽しむ会開催

家に閉じこもりがちな高齢者が外出し、すぐ口ずさむことができる童謡・唱歌を
歌うことで活力を持ち、生きる張り合いにしてもらう。また、いきいきサロン等で
率先して歌い発表することでボランティア活動をしていると自覚を持ってもらうこ
とを目的に開催した。

毎月第2金曜日開催 12回 延べ人数207人

(ウ) 地域以外の学校の福祉体験を補助した。 3校

(4) 武石ボランティア地域活動センター事業

ボランティア活動の推進を図るとともに、地域住民のボランティア活動に対する理解と関心
を深めるため、その育成と組織化を図ることを目指した。

ア ニーズの把握

(ア) 相談活動によるニーズの把握

(イ) 社会福祉施設、ボランティア団体のニーズの把握

(ウ) 企業の社会貢献に関する状況把握

イ 広報、啓発

(ア) 住民参加の地域内のごみ拾いや清掃など、ボランティア活動を通し啓発を進めた。

(イ) ボランティア保険の普及、保険への加入促進

活動保険 16人(年間)

行事保険 20人(年間)

ウ 養成研修、組織化

(ア) 各種講座の開催

・高齢者疑似体験ボランティア養成講座

(イ) ボランティア連絡協議会加入者数

団体 12 団 個人 26 人

エ 社会資源活用、ネットワーク促進

- (ア) 高齢者クラブ連合会女性部による高齢者福祉施設での洗濯物たたみや話し相手
- (イ) サークルによるデイサービスへの訪問活動
- (ウ) 個人による施設などへのボランティア活動
- (エ) ふれあい事業への協力
 - ・藪合地区ふれあい事業に参加し、体操等の支援
- (オ) 高齢者クラブ員による老人福祉センター庭園の樹木の剪定や草刈りを行い、施設の景観整備に努めた。

年 2 回 6 月、9 月 延べ参加者 94 人

(カ) ボランティア連絡協議会事務局

- ・アレチウリ駆除および講演会

講演会 講師 成沢秀敏氏「中高年、楽しい毎日過ごすために」

実施日 6 月 9 日（日） 参加者 45 人

- ・交流会および講演会

講演会 講師 松村正一氏「ボランティアをされての苦労話」

実施日 11 月 15 日（金） 参加者 23 人

オ 福祉教育の推進

(ア) 福祉体験学習

高齢者疑似体験・アイマスク体験依田窪南部中学校 1 年生

実施日 11 月 8 日（金）

延べ参加者 73 人

点字学習 依田窪南部中学校 3 年生

実施日 9 月 6 日、20 日、10 月 7 日、21 日

延べ参加者 74 人

手話学習 依田窪南部中学校 3 年生

実施日 1 月 11 日、19 日、27 日 2 月 7 日、19 日、21 日

延べ参加者 74 人

福祉施設訪問 依田窪南部中学校 3 年生

実施日 12 月 6 日、9 日

延べ参加者 74 人

カ ボランティア活動状況

(ア) ボランティア登録数

11 団体 231 人 個人 31 人

災害ボランティア 6 人

(イ) 洗濯物たたみ高齢者クラブ女性部： 実施回数 20 回 1 回あたり 3 人参加

(ウ) 傾聴ボランティア ： 活動人数 3 人

(エ) サークルによる福祉施設訪問

舞踊 大正琴 カラオケ フラダンス サクソフォーン 美ヶ原飛龍太鼓保存会
ハーモニカ

(オ) 個人ボランティアによる施設での活動

デイサービスでの活動 週 3 回

児童館訪問交流 月 1 回

児童館保護者との交流 月 2 回

施設訪問 月 1 回

子育て支援室 月 1～2 回

子育て支援室 月 1～2 回

10 ボランティア地域活動センター事業の評価等

各地域のボランティア地域活動センターを拠点に運営している中で、誰もが立ち寄りやすいセンターと活動に参加しやすい環境づくりを目的として、ボランティアのネットワークづくりができた。また、福祉教育の推進や、養成講座の開催、ボランティア連絡協議会事業支援などさまざまな活動の中で地域福祉の推進につながった。

課題としては、ボランティアの高齢化があげられるが、今後、魅力ある講座や事業を計画する中で若手ボランティアの育成に取り組んでいかなければならないと思う。

上田市ボランティア地域活動センター運営委員会を設置し、今後のボランティア地域活動センターの充実に向け取り組んだ。

上田ボランティア連絡協議会の事務局を、上田ボランティア地域活動センターに設置し、組織の充実に向けた取組み、会員の加入促進について検討した。各地区のボランティア連絡協議会で様々な事業を実施した。まだ地区ごとに協議会の組織等の温度差もあるため、今後は各地区の協議会の交流に向け取り組みたい。

11 児童館事業

(1) 上田地区児童館

この事業は、「児童福祉法」第 40 条に規定されている児童厚生施設として、上田市が設置した 2 児童館・6 児童センターを平成 9 年度から上田市社会福祉協議会が管理運営している。

児童館・児童センターは地域の子どもたちに安心して遊べる場を提供し、いろいろな遊びや活動を通して、健康で情操豊かな子どもを育てることを目的としている。

開館時間は、平日は午後1時から午後6時まで、土曜日や長期休み等小学校の休業日は午前9時から午後6時までである。

近年、保護者の就労等で留守家庭が増えていることから、その対策として、小学校から直接来館する下校途中の利用、また平成17年3月の春休みからは、学校休業日に弁当持参での利用ができるようになっており、児童の放課後の居場所として、ますます重要度を増している。

○ 地区懇談会

朝日が丘児童館	5月16日(木)	緑が丘児童館	5月23日(木)
川辺町児童センター	6月6日(木)	秋和児童センター	5月15日(水)
東塩田児童センター	6月5日(水)	大星児童センター	6月10日(月)
神科児童センター	5月31日(金)	神川児童センター	5月21日(火)

○ その他

年間を通して、季節や伝統の行事、工作や手芸、プレゼント作りなどの制作、ドッジボールや卓球、バドミントンなどの体育的活動、毎月のお話の会、囲碁将棋の会、講師によるコンサートなどを実施した。また毎月児童館だよりを発行し小学校に配布したほか、自治会にも回覧して地域の方に行事や活動への参加を呼びかけた。

長野県児童館連絡協議会主催の研修会や放課後児童クラブスキルアップ研修会、県社協の児童館職員研修会に参加した。また、救急法講習会、発達障がい、感染症についての研修会に参加した。(県児連前期研修会、東信地区研修会、救急法講習会、スキルアップ研修会、長野県総合学習センター家庭・幼児講座、感染症と予防、工作実習)

サマーチャレンジボランティア、スプリングチャレンジボランティアなどのボランティアや、実習生の受け入れをした。

児童館利用状況

月	内 訳	朝日が丘児童館	緑が丘児童館	川辺町児童センター	秋和児童センター	東塩田児童センター	大星児童センター	神科児童センター	神川児童センター	月計
4	利用者数(人)	1,280	1,070	1,762	767	1,014	1,698	2,714	1,201	11,506
	開館日数(日)	25	25	25	25	25	25	25	25	200
	1日平均利用者(人)	51.2	42.8	70.5	30.7	40.6	67.9	108.6	48.0	57.5
5	利用者数(人)	1,170	1,235	2,027	798	956	1,753	2,866	1,420	12,225
	開館日数(日)	24	24	24	24	24	24	24	24	192
	1日平均利用者(人)	48.8	51.5	84.5	33.3	39.8	73.0	119.4	59.2	6.7
6	利用者数(人)	1,162	1,184	1,765	603	976	1,701	2,464	1,341	11,196
	開館日数(日)	25	25	25	25	25	25	25	25	200
	1日平均利用者(人)	46.5	47.4	70.6	24.1	39.0	68.0	98.6	53.6	56.0
7	利用者数(人)	1,417	1,208	1,857	679	1,020	1,653	2,620	1,407	11,861
	開館日数(日)	26	26	26	26	26	26	26	26	208
	1日平均利用者(人)	54.5	46.5	71.4	26.1	39.2	63.6	100.8	54.1	57.0

8	利用者数(人)	943	878	1,186	545	729	1,095	1,821	1,066	8,263
	開館日数(日)	23	23	23	23	23	23	23	23	184
	1日平均利用者(人)	41.0	38.2	51.6	23.7	31.7	47.6	79.2	46.3	44.9
9	利用者数(人)	917	929	1,489	555	923	1,523	2,174	1,160	9,670
	開館日数(日)	23	23	23	23	23	23	23	23	184
	1日平均利用者(人)	39.9	40.4	64.7	24.1	40.1	66.2	94.5	50.4	52.6
10	利用者数(人)	1,160	889	1,726	552	1,049	1,741	2,600	1,251	10,968
	開館日数(日)	26	26	26	26	26	26	26	26	208
	1日平均利用者(人)	44.6	34.2	66.4	21.2	40.3	67.0	100.0	48.1	52.7
11	利用者数(人)	1,043	837	1,524	481	993	1,605	2,411	1,228	10,122
	開館日数(日)	24	24	24	24	24	24	24	24	192
	1日平均利用者(人)	43.5	34.9	63.5	20.0	41.4	66.9	100.5	51.2	52.7
12	利用者数(人)	1,008	1,005	1,434	472	1,093	1,665	2,217	1,388	10,282
	開館日数(日)	23	23	23	23	23	23	23	23	184
	1日平均利用者(人)	43.8	43.7	62.3	20.5	47.5	72.4	96.4	60.3	55.9
1	利用者数(人)	929	755	1,267	429	908	1,223	1,875	934	8,320
	開館日数(日)	21	21	21	21	21	21	21	21	168
	1日平均利用者(人)	44.2	36.0	60.3	20.4	43.2	58.2	89.3	44.5	49.5
2	利用者数(人)	728	699	916	396	755	1,157	1,526	944	7,121
	開館日数(日)	23	23	23	23	23	23	23	23	184
	1日平均利用者(人)	31.7	30.4	39.8	17.2	32.8	50.3	66.3	41.0	38.7
3	利用者数(人)	1,004	795	1,209	600	657	919	1,995	1,153	8,332
	開館日数(日)	25	25	25	25	25	25	25	25	200
	1日平均利用者(人)	40.2	31.8	48.4	24.0	26.3	36.8	79.8	46.1	41.7
累計	利用者数(人)	12,761	11,484	18,162	6,877	11,073	17,733	27,283	14,493	119,866
	開館日数(日)	288	288	288	288	288	288	288	288	2304
	1日平均利用者(人)	44.3	39.9	63.1	23.9	38.4	61.6	94.7	50.3	52.0
24年度 累計	利用者数(人)	12,086	8,370	19,107	6,603	13,574	19,492	26,682	15,089	121,003
	開館日数(日)	287	287	287	287	287	287	287	287	2296
	1日平均利用者(人)	42.1	29.2	66.6	23.0	47.3	67.9	93.0	52.6	52.7
増減	利用者数(人)	675	3,114	-945	274	-2,501	-1,759	601	-596	-1,137
	開館日数(日)	1	1	1	1	1	1	1	1	8
	1日平均利用者(人)	2.2	10.7	-3.5	0.9	-8.9	-6.3	1.7	-2.3	-0.7

(2) 丸子地区児童館

開館時間：平日（5月～10月 午後3時～5時、11月～4月 午後3時30分～5時30分）

長期休み：午後1時～5時（夏休みは午後1時30分～5時30分）

下丸子児童館利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用者数	161	113	95	98	63	63	
開館日数	21	21	20	22	22	19	
1日平均利用者	7.7	5.4	4.8	4.5	2.9	3.3	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計

利用者数	74	46	116	29	31	56	945人
開館日数	22	20	19	19	17	20	242日
1日平均利用者	3.4	2.3	6.1	1.5	1.8	2.8	3.9人

(3) 地域子育て支援拠点事業（児童館型、ひろば型）

「子育てひろば」は、未就園児の親子の皆さんを対象に子育ての負担感の緩和を図り、安心して子育て・子育てができることを目的とした事業である。

地域における子育て支援拠点として、地域の実情に応じた子育て支援サービスの提供を行った。

今年度は、自治会内に回覧や掲示をして、子育てひろばの利用方法や毎月の講座、ひろばの様子を知らせるなど周知に努めた。

子育てひろば職員スキルアップ研修会、救急法講習会、発達障がい研修会に参加し、資質の向上を図った。

子育てひろば職員の連絡会議を行い、情報交換や保護者への対応や支援の方法について事例をあげて意見交換をする機会をもった。

会場・開設日時

会場	開設曜日	開設時間	1日平均利用者数
大星児童センター	火・木・金	9:30～12:30	15.2人
神科児童センター	火・水・木	9:30～12:30	16.1人
東塩田児童センター	月・火・水	9:30～12:30	17.7人
清明子育てひろば	月・水・金	9:30～14:30	14.9人

1.1 児童館事業の評価等

運動や工作の研修を行い、楽しく取り組めるような行事や活動を実施し、児童や保護者に好評であった。また、毎月1回、施設内外の安全点検を行い、避難訓練の実施や安全管理の研修会、救急法の講習会に職員が参加して安全管理に努め、平成25年度は怪我や事故が減少した。

平成24年度から発達障がい児童の対応のため、加配職員1人が神科児童センターに配置されたが、支援を必要とする児童の来館が増えていることから、平成25年度は、利用が少ない館の職員を利用が多い館へ兼務する体制をとった。しかし、利用の少ない館にも発達障がい児童の来館があり、兼務が難

しい状況であった。さらに、職員1人の増員が必要である。

地域子育て支援拠点事業については、子育て中の親子が自由に集える場所であるが、周知されていない現状があったため、子育てひろばの様子や講座の予定を自治会の回覧、掲示などで知らせ周知に努めた。地域の方の口添えもあり、全体的に利用が増え、利用して良かった、楽しかったとの感想が聞かれた。

1 2 老人福祉センター事業

(1) 上田市高齢者福祉センター管理事業

上田市高齢者福祉センターは、市内に在住する60歳以上の高齢者の方の生きがいと健康づくりを目的として昭和56年に開設された。平成9年4月1日からは上田市社会福祉協議会が管理運営を行っている。

2階にある展望風呂を楽しみに来館される方が多く、また貸出部屋を利用した各種同好会活動等も盛んに行われている。他にも、高齢者介護課が主催する介護予防体操や上田市視覚障害者福祉協会による針・マッサージコーナー、当館が主催する初級パソコン教室があり、大勢の方々に利用していただいている。

館内では利用者の趣味を生かした各種クラブが33クラブあり、約1,100人の会員が積極的な活動を行い、特に高齢者文化祭や高齢者作品展での発表や作品展示に向けて仲間との交流を図りながら楽しんで取り組んでいる。

また、当センターを主会場に3年間の学習形態で上田市高齢者学園の授業が行われており、卒業後は各種同好会やクラブ活動をはじめ、学んだ知識を地域での活動に役立てている。

ア 利用状況

高齢者の生き甲斐と健康づくりを目的に多くの皆さんが利用された。

月	利用延人数(人)	開館日数(日)	1日の利用者数(人)
4	8,912	25	356.5
5	8,200	24	341.7
6	8,026	25	321.0
7	7,964	26	306.3
8	7,521	27	278.6
9	7,849	23	341.3
10	8,104	26	311.7
11	7,478	24	311.6
12	7,337	23	319.0
1	7,677	24	319.9
2	6,642	22	301.9
3	7,425	25	297.0
合計	93,135	294	平均 316.8

イ その他事業

・高齢者文化祭	10月19・20日	参加者	1,356人
ウ 利用人数			
・教養クラブ活動（33クラブ）		参加者	39,970人
・パソコン教室	370回	参加者	2,618人
・実習生・ボランティア	12回	参加者	75人

（2）高齢者学園事業

上田市高齢者学園は、高齢者の方の「仲間づくり、健康づくり、生きがいづくり」を目指す学びの場として、様々な学習活動（授業、クラブ、課外、校外）を行うとともに、仲間同士の絆を深めながら、地域での積極的な交流を行った。

また、講義評価アンケートを実施するとともに、学生からの様々な要望や意見を取り入れ、学園生の自発的な学園運営に役立てた。

ア 学生数 1年生 59人、2年生 37人 3年生 60人

イ 講義回数 1年生 12講義、2年生 13講義、3年生 12講義

ウ 研修会 1年生 創造館研修、2年生 松代研修、3年生 長野研修

エ 交流会 1年生 加沢高原、2年生 別所温泉、3年生 辰野町

オ 研修旅行 1年生 9月26日～27日 千葉県安房鴨川温泉

2年生 10月24日～25日 茨城県五浦温泉

3年生 6月13日～14日 茨城県五浦温泉

カ クラブ活動 1か月に1回設定し、学習効果を高めた。また、三学年合同のクラブ発表会を開催し、ステージ発表や作品展示をとおして活動の成果を確かめ合った。

キ 運営委員会 第1回運営委員会 11月15日（金）

第2回運営委員会 2月14日（金）

ク その他 講義評価アンケートの実施

（3）上田市丸子老人福祉センター設置管理事業

上田市丸子老人福祉センターは、高齢者の心身の健康の保持のため、健康相談・指導・入浴・休養・レクリエーションなどを行うとともに、文化教養の向上を図るため老人のクラブ活動等を行い、高齢者福祉に総合的に寄与することを目的に昭和54年に開設した。

開設当時より社会福祉協議会の事業として運営されており、老人クラブの活動や高齢者憩いの場所として多くの方に利用されている。

利用状況

月	利用延人数(人)	開館日数(日)	1日平均利用者数(人)
4	2,215	26	85.2
5	2,129	27	78.9
6	2,103	25	84.1
7	2,120	26	81.5

8	1,669	25	66.8
9	1,946	24	81.1
10	1,990	27	73.7
11	2,104	26	80.9
12	1,987	24	82.8
1	2,101	24	87.5
2	1,710	23	74.3
3	2,482	26	95.5
合計	24,559	303	81.0

(4) 上田市真田老人福祉センター管理事業

上田市真田老人福祉センターは、高齢者の健康相談に応ずるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーション等憩いの目的に利用されている。

利用状況

月	利用延人数(人)	開館日数(日)	1日平均利用者数(人)
4	1,005	26	38.7
5	1,061	27	39.3
6	933	25	37.3
7	1,016	27	37.6
8	908	23	39.5
9	1,006	25	40.2
10	970	27	35.9
11	1,037	26	39.9
12	911	23	39.6
1	1,034	24	43.1
2	865	24	36.0
3	1,148	26	44.2
合計	11,894	303	39.3

(5) 上田市武石老人福祉センター管理事業

武石老人福祉センターは、近隣に市営の温泉施設「うつくしの湯」が開業してから入浴施設を廃止したが、「木工教室」、「松本てまり教室」、「大正琴」などの趣味活動、単位高齢者クラブや各種福祉団体の会議等に利用されている。

利用状況

月	利用延人数(人)	開館日数(日)	1日平均利用者数(人)
4	108	21	5.1
5	67	20	3.0
6	104	20	5.2
7	59	22	2.6
8	152	22	6.9
9	66	19	3.4
10	43	22	1.9
11	105	20	5.2
12	43	19	2.2
1	87	19	4.5
2	47	19	2.4
3	160	20	8.0
合計	1,039	243	4.2

1 2 老人福祉センター事業の評価等

老人福祉センター事業は、超高齢社会並びに人口減少社会に突入した時代において、高齢者が主体的に社会との関わりを保ちながら、生きがいを持って健康増進を図ることができるための拠点となる施設として有効に活用された。

各クラブ活動においては、趣味や特技を活かしてのボランティア活動が積極的に行われ、地域における社会貢献の模範ともなっている。

また、福祉教育の一環として看護学校をはじめとした実習生や学生ボランティアを受け入れる中で、学生と利用者との貴重な世代間交流の場となり、互いに良好な相互作用がもたらされた。

全体としてセンター施設を中心に、長寿社会における高齢者の生き方の模範的な活動が行われた。

施設の老朽化が進み年々修繕箇所が増えているのが課題となっている。

1 3 生活支援事業

(1) ふれあいバス運行事業

- ・定期運行 毎週 月、水、木、金曜日に真田地域巡回（菅平区は除く）
- ・25人乗りマイクロバス 迎え1回 送り2回の巡回
- ・運休日 毎週 火、土、祝日、お盆（8月13日～16日）
年末年始（12月29日から1月3日）

利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用者数	528	603	553	604	462	472	

運行日数	16	16	16	17	15	15	
1日平均利用者数	33.0	37.7	34.6	35.5	30.8	31.5	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	517	535	451	463	369	553	6,110
運行日数	17	16	16	15	12	16	187
1日平均利用者数	30.4	33.4	28.1	30.9	30.8	34.6	32.7

(2) 真田生活支援事業

3月11日 運営委員会の開催

貸出状況

品名	貸出件数	品名	貸出件数
留袖	7	男女児掛衣装	1
モーニング	6	羽織、袴一式	4
喪服	2	打ち掛け	1
		合計(件)	21

(3) 上田配食サービス事業

昭和63年度から在宅福祉の一環として、一人暮らし老人・高齢者世帯・障がい者のみの世帯を対象に、食生活の安定を図り、ふれあいを深めると同時に安否確認をする事業として始まる。平成5年7月には上田市からの受託事業となり、また、平成12年4月の介護保険制度の施行により、高齢者を対象に、土・日・祝日の配食も加わり、内容も一層充実した。平成25年9月30日をもって上田市からの受託契約を終了し、10月1日からは、上田市から民間事業者へ委託となった。

ア 実施方法

- ・月曜日から日曜日までの希望曜日に昼食を配食
- ・利用料は1食250円
- ・配食員はパート職員
- ・弁当作りは市内の3業者（ファミランセえぼし・㈱あんでーくつく・㈱ふじ食品）に1か月交替で委託
- ・弁当にはふれあいメッセージを添付（月、水、金）

イ 月別配食状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
配食数	2,051	1,992	2,055	2,118	2,158	2,153	12,527

1日平均	68.4	64.3	68.5	68.3	69.6	71.8	68.5
------	------	------	------	------	------	------	------

ウ 利用者状況

種 別	人 数
一人暮らし高齢者	96人
高齢者世帯	19人
そ の 他	1人
台 計	116人

(4) 丸子配食サービス事業

市からの受託事業として、調理が困難な在宅の高齢者等が健康で自立した生活を送ることができるよう、栄養のバランスのとれた昼食弁当を配布するとともに、利用者の安否の確認を行うことを目的として実施した。また、地域ボランティアを活用して弁当の配食を行うことにより、ボランティア活動を推進した。(配食ボランティア人数 142人)。

平成8年6月西内地区から開始し、平成9年4月に丸子全地域に拡大した。

平成25年9月をもって上田市からの受託契約を終了し、10月からは民間業者へ移行となった。

ア 実施方法

- ・月曜日から日曜日までの希望日に昼食を配食
- ・利用料は1食250円
- ・平日(月～金)配達は配食ボランティア
- ・土日祝配達はホットミール上田店
- ・土日(西内)配達はシルバー人材センター
- ・配食弁当調理委託は敬老園、荻原食品、東信福祉事業協同組合、ホットミール上田店に委託

イ 月別配食状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
配食数	1,100	1,078	1,040	1,105	1,147	1,078	6,548
1日平均	36.7	34.8	34.7	35.6	37.0	35.9	35.8

ウ 利用者状況

種 別	人数
一人暮らし高齢者	45人
高齢者世帯	15人
そ の 他	4人
合 計	64人

(5) 在宅介護者リフレッシュ事業

在宅で高齢者を介護している介護者の皆さんが、①心身の疲れを癒し、元気の回復を図る。②関係機関から相談援助や情報提供を受ける。③同じ悩みや体験をもつ介護者同士の交流を図る。などを目的として実施した。

(日帰り)	期 日	平成 25 年 10 月 30 日(水)
	場 所	自然体感リゾート「かすがの森」
	参加者	11 人
(一泊二日)	①期 日	平成 25 年 9 月 18 日(水)～19 日(木)
	場 所	南信州 湯元ホテル「阿智川」
	参加者	13 人
	②期 日	平成 25 年 11 月 13 日(水)～14 日(木)
	場 所	福島県会津若松市「東山グランドホテル」
	参加者	27 人

(6) 小泉ふれあいホーム事業

この施設は、一人暮らしや日中一人になってしまう高齢者が、家庭的な雰囲気の中でお互い交流することにより、生きがいを高めていただく介護予防を目的とした施設である。

ア 主な事業

- ・高齢者の交流事業（ふれあいサロン）
- ・生きがい活動支援通所事業（生きがい対応型デイサービス事業）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ふれあいサロン	57	60	56	59	53	51	59	47	57	46	48	57	650人
	8	8	8	8	8	8	8	8	8	6	6	7	91回
生きがい活動支援	20	23	24	21	14	16	13	16	12	14	6	8	187人
	4	4	4	4	3	4	4	4	3	4	2	3	43回

(7) みまもり声かけ訪問事業

高齢化、少子化、核家族化社会の中で、一人での暮らしや健康に不安をかかえている高齢者世帯が住み慣れた地域で孤立することなく安心して暮らすことができるよう、ボランティアによるみまもり声かけ訪問を行い、助け合いのしくみづくりを行った。

(ア) 実施内容

登録ボランティアが月2回程度利用者宅を訪問し、玄関先や軒先で日常の話をお聞きした。
訪問にはチラシ、ボランティアグループが作ったアクリルタワシなどを持参した。

(イ) 対象者

65歳以上の方のみの世帯または同居されていても日中一人になる方で、介護保険サービスを利用されていない方（登録利用者 12人）

(ウ) 協力者

みまもり（声かけ）訪問事業登録ボランティア（登録ボランティア 31人）

(エ) 見守り訪問実績（H25年11月から開始）

*H25年度は丸子地区をモデル地域として実施（単位 人）

	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問件数	2	2	3	9	19	35

1.3 生活支援事業の評価等

配食サービス事業においては、調理が困難な高齢者等の食生活の安定を図り、利用者の安否確認も兼ねて実施してきた。平成25年9月30日をもって本会への委託が満了となり、上田市から民間事業所へ直接委託されるようになった。長くサービスを利用されていた方も滞りなく事業を引きつぐことができた。

丸子地域では配食に地域のボランティアを活用して行うことでボランティアの推進にもつながった。配食サービス事業終了後、「みまもり声かけ事業」を独自事業として開始した。一人での暮らしに不安をかかえている高齢者が孤立することなく安心して暮らすことができるよう、ボランティアによるみまもり声かけ訪問をおこない、訪問日を楽しみに待ってくださる高齢者がいることで配食終了後のボランティアの生きがいづくりの活動にもなった。課題としては利用者増加時の協力者との調整だが、若手ボランティアを育成する中で対応していきたい。

在宅介護者リフレッシュ事業については、在宅で高齢者を介護している介護者が心身の疲れを癒し、元気の回復を図り、関係機関からの相談援助や情報提供を受けるとともに同じ悩みや体験をもつ介護者同士の交流を図ることを目的として実施した。より多くの市民の方に情報が届くように周知方法を検討し、広く在宅介護者が心身の健康を保持し、多くの参加者が得られるよう内容の充実に努めてまいります。

訪問ボランティア数	4	4	6	18	38	70
-----------	---	---	---	----	----	----

1.4 介護保険事業（公益事業）

平成 12 年度から介護保険制度が始まり、従来の措置から契約へと大きく様変わりしました。上田市社協も介護保険の事業者として長年培った介護のノウハウを活かして、利用者の自立支援を目指して各種介護サービスを行った。

(1) 介護相談センター事業・神川介護相談センター事業・丸子介護相談センター事業

可能な限り住み慣れた居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、心身の状況やおかれている環境等に応じて、常に利用者の立場にたった支援に努めた。

ア 業務内容

- ・ 介護保険代行（更新・申請含む）
- ・ 介護に関する相談
- ・ ケアプラン作成
- ・ サービス担当者会議
- ・ サービス計画の実施状況の把握・モニタリング
- ・ 必要に応じサービス計画の変更、サービス事業者との連絡調整
- ・ 上田市特例措置制度利用認定利用者の申請代行
- ・ 認定調査（要支援・要介護認定）及び調査票作成

イ 介護支援専門員

- ・ 介護相談センター：正規専任 3 人 正規兼務 1 人 臨時専任 2 人、
嘱託事務 1 人 ……計 7 人
- ・ 神川介護相談センター：正規専任 3 人 臨専任 1 人 ……計 4 人
- ・ 丸子介護相談センター：正規専任 2 人 嘱託専任 1 人 ……計 3 人

ウ 利用者件数 (単位 件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護相談センター	187	187	187	189	181	183	181	183	187	187	175	181	2,208
神川介護相談センター	131	125	127	127	134	135	137	139	135	132	136	134	1,592
丸子介護相談センター	103	108	109	106	108	110	109	101	102	106	107	110	1,279
合計	421	420	423	422	423	428	427	423	424	425	418	425	5,079

エ 認定調査状況 (単位 件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護相談センター	2	0	5	4	3	5	4	5	7	2	7	5	49
神川介護相談センター	5	3	3	6	2	2	3	3	1	6	2	5	41
丸子介護相談センター	3	6	5	4	6	4	4	1	3	6	1	1	45
合計	10	9	13	14	11	11	11	9	11	14	10	11	135

オ ケアプラン作成状況 (単位 件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護相談センター	173	172	180	173	171	168	164	167	172	172	168	179	2,059
神川介護相談センター	124	115	118	120	124	124	126	126	124	115	118	120	1,454
丸子介護相談センター	99	102	103	102	103	106	106	98	99	102	105	100	1,225
合 計	396	389	401	395	398	398	396	391	395	389	391	399	4,738

カ 住宅改修費理由書作成にかかる事務手続状況

(単位 件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護相談センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
神川介護相談センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
丸子介護相談センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

キ 介護保険利用料貸付金

介護保険のサービスを利用する方で、償還払いとなるサービス（住宅改修費、福祉用具購入費等）を利用している方に貸し付ける制度である。

資金種類	相談件数	貸付件数	貸付総額
介護保険利用料貸付金	2件	2件	911,385円

1 4 介護保険事業（公益事業）の評価等

平成12年の介護保険法の施行以降、中立公正な立場で3居宅介護相談センターの運営を行い市民からの相談に迅速に対応してきた。

利用者が在宅において生活するため一人ひとりの状況を的確に把握し、利用者本位のケアプランを作成し、関係機関や家族との連携を図り、利用者の尊厳を尊重し、住み慣れた地域で生活が保持できるように支援してきました。

利用者への円滑なサービス提供を行うため職員の資質向上に努めました。

今後、介護保険事業を展開する上でも選ばれる事業所を目標に利用者の確保に努めたい。

1 5 施設管理事業

(1) ふれあい福祉センター管理事業

ふれあい福祉センターは、旧上田郵便局舎を改修し、障がい者の社会参加の支援、市民のボランティア活動への参加を積極的に促進するとともに、市民と高齢者、ボランティアの交流を推進することを目的に平成11年11月15日にオープンし、福祉の拠点として多くの方が利用された。

利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用延べ人数	2,634	2,731	3,388	3,516	2,512	3,425	
日数	30	31	30	31	31	30	
1日平均利用者	87.8	88.1	112.9	113.4	81.0	114.2	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延べ人数	3,488	3,452	2,584	2,564	2,478	2,524	35,296人
日数	31	30	28	28	28	31	359日
1日平均利用者	112.5	111.5	92.3	91.6	88.5	81.4	98.3人

(2) 真田総合福祉センター管理事業

真田総合福祉センターは、地域の多くの方に利用していただける施設です。障がい者及び高齢者の社会参加を支援するとともに、市民のボランティア活動への参加を積極的に推進することを目的としている。また多くのクラブ活動に利用されている。

開館日：火曜日の夜間を除く毎日

開館時間：午前9時～午後9時30分

会議室等利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用延べ人数	974	883	848	2,430	1,703	937	
日数	30	31	30	31	31	30	
1日平均利用者	32.5	28.5	28.3	78.4	54.9	31.2	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延べ人数	2,754	861	760	483	633	802	14,068人
日数	31	30	28	28	28	31	359日
1日平均利用者	88.8	28.7	27.1	17.3	22.6	25.9	39.2人

(3) 真田地域活動センター管理運営事業

障がい者及び高齢者が民芸品の自主制作に取組み、生産意欲を持って健康で楽しく働き、社会生活の適応性を高めることを目的に利用されている。

開館日：月曜日～土曜日（ただし、お盆、年末年始、祝日休館）

利用者：16人（身障者10人 高齢者6人）

(4) 長瀬市民センター管理事業

長瀬市民センターは、市からの受託事業で、市民の福祉の増進に寄与することを目的とし、会場の貸し出し等の管理運営を行い市民が広く利用している。

利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用延人数	1,020	941	1,451	1,939	1,166	1,182	
開館日数	27	28	29	28	25	28	
1日平均利用者数	37.7	33.6	50.0	69.2	46.6	42.2	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延人数	1,185	1,233	940	1,124	1,068	2,249	15,498人
開館日数	30	28	28	25	28	30	334日
1日平均利用者数	39.5	44.0	33.5	44.9	38.1	74.9	46.4人

15 施設管理事業の評価等

地域の方々をはじめ、ボランティアやNPO法人、福祉団体の方々の定例会や活動の場として、幅広く利用されており、その活動促進につながっている。また、障がい者や高齢者の社会参加支援の場としての役割と共にボランティアとの交流の場ともなっている。

建物の老朽化もあり施設修繕が増えてはいるが修繕についても的確に実施して利用者が安全で気持ち良く使用できるよう心がけている。

16 その他の事業

(1) 児童福祉

〈丸子地区センター〉

ア 子育て中の母親、父親を対象に、子どもの発達段階に応じて教室等を開催することにより、子育て支援を行う。

ベビーマッサージ教室 2回開催 参加者 38組

ベビーダンス教室 2回開催 参加者 39組

パステルアート体験講座 2回開催 参加者 17組

(2) 高齢者福祉

〈上田地区センター〉

ア 上田地域福寿クラブ連合会

(ア) 高齢者クラブ数 48単位クラブ 3,095人

(イ) 会議、行事等

・平成24年度会計監査 4月3日(水)

・新年度女性部会 4月5日(金)

- ・新年度理事会・代議員会 4月10日(水)
- ・表彰審査委員会 5月10日(金)
- ・正副会長と総務教養部長定期大会打ち合わせ 5月28日(火)
- ・老人クラブリーダー中央研修会 6月3日(月)、4日(火)
- ・県老連東信地区ブロック研修会 6月6日(木)
- ・第29回福寿連定期大会 6月13日(木)
- ・福寿連指導者研修会 6月26日(水)
- ・東信地区女性指導者研修 7月10日(水)
- ・社協幹部との意見交換会 7月18日(木)
- ・高齢者介護課との意見交換会 7月22日(月)
- ・正副会長会 7月30日(火)
- ・理事会 8月23日(金)
- ・人権を考える市民のつどい 10月3日(木)
- ・第35回うえだ市民ふれあい広場 10月5日(土)
- ・赤い羽根共同募金運動参加 10月9日(水)
- ・第54回長野県老人クラブ大会 10月17日(木)
- ・人権啓発担当者研修会 11月2日(土)
- ・男性料理教室補助員事前講習会 11月12日(火)
- ・新潟市北区老人クラブとの交流会 11月13日(水)、14日(木)
- ・つくば市老連との交流会 11月26日(火)
- ・男性の料理教室 12月4日(水)
- ・市長表敬訪問 1月7日(火)
- ・正副会長会 1月30日(木)
- ・理事会 2月17日(月)
- ・東信地区リーダー研修会 3月14日(金)、15日(土)
- ・金婚祝賀事業 通年事業 15組
- ・うえだ福寿だより(年2回発行)

<丸子地区センター>

ア いきいきフェスティバル

身近な地域において支えあい、ともに生きる社会の実現に向け皆で考え、実践することを目的として、丸子地域高齢者クラブ連合会、丸子地域健康推進委員会、丸子ボランティア連絡協議会との実行委員会形式により、市の慶行事と併せて開催する。

7月5日、6日 丸子文化会館 参加者 700人

鉢花交換（喜寿、米寿、白寿、長寿、金婚） 244組

記念写真（喜寿、米寿、白寿、長寿、金婚） 97組

(ア) 高齢者クラブ数 33 単位クラブ 1,523人

(イ) 会議、行事等

- ・丸子地域高齢者クラブ連合会総会 4月22日（月）参加者65人長瀬市民センター
- ・高連幹部研修会 6月6日（木）参加者5人 ベルウィン小諸
- ・交通安全講話 6月25日（火）参加者45人 長瀬市民センター
- ・女性指導者研修会 7月10日（水）参加者2人長和町和田コミュニティセンター
- ・シルバー作品展（いきいきフェスティバル）
7月5日（金）、6日（土） 丸子文化会館
- ・シルバースポーツ大会 9月25日（水）参加者460人 丸子総合体育館他
- ・人権を考える市民のつどい 10月3日（木）参加者2人 上田市民会館
- ・上田市社会福祉大会 10月16日（水）上田市民会館
- ・長野県老人クラブ大会 10月17日（木）参加者8人 茅野市民会館
- ・女性部手芸講習会 10月30日（水）参加者40人 長瀬市民センター
- ・上田市高齢者クラブ連合会マレットゴルフ大会
11月5日（火）15人参加 ハーブ橋マレットゴルフ場
- ・視察研修 11月14日（木）、15日（金）参加者28人 群馬県沼田市高齢者クラブ
連合会との交流、ぐんま天文台視察、富岡製糸場見学等
- ・丸子地区社協住民会議 11月21日（木） 丸子文化会館
- ・冬季スポーツ交流会 12月11日（水） 参加者90人 長瀬市民センター
1月29日（水）、30日（木）参加者176人長瀬市民センター
3月19日（水）、20日（木）参加者180人長瀬市民センター
- ・東信地区リーダー研修
3月14日（金）、15日（土）参加者 1人 東御市休養村とうぶ
- ・まるこ高連だより（年4回発行）

<真田地区センター>

ア 一人暮らし老人親睦会の開催

- ・役員会 5月8日（水） 一年間の計画を策定 参加者11人 真田老人センター
- ・親睦会 6月3日（月） 真田お屋敷公園「真田庵」真田歴史館見学 参加者45人
- ・ふれあいの旅 10月10日（木）「松代温泉 松代荘」 参加者34人
- ・交流会 3月5日（水）ハワイアンバンドとフラダンスで歌と踊りで楽しみました。
参加者29人 真田老人センター

イ 真田地域長寿会

(ア) 高齢者クラブ数 26 単位クラブ

(イ) 会議、行事等

- ・ 第 12 回新緑ゲートボール大会 4 月 23 日 (火)
- ・ 第 54 回 総会 5 月 14 日 (火)
- ・ 高連幹部研修会 6 月 6 日 (金)
- ・ 第 33 回長寿会長杯ゲートボール大会 6 月 21 日 (金)
- ・ 第 60 回マレットゴルフ大会 6 月 25 日 (火)
- ・ 女性指導者研修会 7 月 10 日 (木)
- ・ 女性部長会(手芸講習会含) 7 月 19 日 (金)
- ・ 第 61 回マレットゴルフ大会 8 月 6 日 (火)
- ・ 金婚祝いお届け 9 月 13 日 (金)
- ・ ふれあい広場に参画 9 月 14 日 (土)
- ・ 第 36 回体育祭 10 月 2 日 (水)
- ・ 第 32 回さわやかゲートボール大会 10 月 8 日 (火)
- ・ 第 62 回マレットゴルフ大会 10 月 15 日 (火)
- ・ 長野県老人クラブ大会 10 月 17 日 (金)
- ・ にこにこ健康教室 10 月 25 日 (金)
- ・ 上田市高齢者クラブ連合会マレットゴルフ大会 11 月 5 日 (水)
- ・ 視察研修旅行 伊勢市 11 月 7 日 (木)、8 日 (金)
- ・ みんなの生活展参加 11 月 16 日 (土)
- ・ 上田市高齢者クラブ連合会正副会長会 1 月 7 日 (火)
- ・ 第 4 回高齢者の健康を考えるつどい 2 月 25 日 (火)
 - 講演会 「楽脳フィットネス 楽しみながら脳と身体の健康づくり」
 - 講 師 健康運動指導士 フィットネスサポートセンター代表
三浦 弘氏 参加者 140 人
- ・ 東信地区リーダー研修会 3 月 14 日 (土)、15 日 (日)
- ・ 他役員会、理事、監事、地域長寿会、女性部長会 随時開催
- ・ 伝承広場の開催
 - 5 月 31 日 (金) 菅平小学校、6 月 19 日 (水) 本原小学校
 - 9 月 14 日 (土) 傍陽小学校、10 月 10 日 (木) 長小学校

<武石地区センター>

ア 高齢者弁当宅配事業

民生児童委員の協力を得て 65 歳以上の一人暮らしの方を対象に季節感のあふれる弁当を配ることで一人暮らしの中に生活の楽しさを味わってもらうことを目的に実施
実施日 12 月 18 日 (水)

配食数 100 食

利用料 無料

イ 敬老会

武石地域全体で 65 歳以上の方を対象として、社会への貢献に感謝し長寿を祝い今後の健勝を願って実施

日 時 9 月 14 日 (土)

会 場 武石公民館

出席者 246 人

ウ 武石高齢者クラブ連合会事務局

- ・ 地区高齢者クラブ数 15 クラブ 会員 700 人
- ・ 長野県老人クラブ連合会県ブロック研修会 6 月 6 日 (木)
- ・ 老人センター寿楽荘庭手入れ 6 月 20 日 (木) 9 月 20 日 (金)
- ・ 女性部指導者研修会 7 月 10 日 (水)
- ・ マレットゴルフ大会 8 月 30 日 (金)
- ・ 県大会 10 月 17 日 (木)
- ・ 保育園児との交流 11 月 1 日 (金)
- ・ 上田市マレットゴルフ大会 11 月 5 日 (火)
- ・ 研修会 2 月 20 日 (木)、21 日 (金)
- ・ 高齢者福祉施設の洗濯物たたみ (女性部) 通年

エ 一人暮らし老人もみじ会事務局

- ・ 春の研修会 6 月 25 日 (火)、26 日 (水)
- ・ 秋の研修会 10 月 23 日 (水)、24 日 (木)

(3) 障がい者福祉

ア 車いす貸出し事業

介護保険の福祉用具貸与対象外の高齢者、障がい者等が通院、外出等で必要な場合、1 か月をめどに無料で貸出した。

地区	貸出件数	利用者数	保有台数
上田	136 件	136 人	37 台
丸子	62 件	62 人	26 台
真田	13 件	10 人	20 台
武石	1 件	1 人	11 台

イ 特殊寝台貸与事業

介護保険の福祉用具貸与対象外の高齢者、障がい者等が一時的に日常生活を営むことが困難になった場合、3か月をめぐりに無料で貸出した。

地区	貸出件数	保有台数
上田	3件	4台
丸子	2件	2台
真田	0件	1台
武石	3件	4台

〈上田地区センター〉

- ア 上小圏域障害者総合支援センターとの協力と連携
- ・上小地域障害者自立生活支援センター「ウィング」
 - ・上小地域就業・生活支援センター「シェイク」
 - ・地域活動支援センター「やすらぎ」
- イ NPO 法人上田市身体障害者福祉協会等、障がい者団体への協力援助と連携

〈真田地区センター〉

- ア 真田町身体障害者福祉協会
- ・総会 4月24日（水）
 - ・第39回上小地区障害者スポーツ大会 5月25日（土）
 - ・視察研修（長野市飯山市） 7月2日（火）、3日（水）
 - ・第26回ふれあい広場参加 9月14日（土）
 - ・上田市身体障害者福祉協会連合会第5回ゲートボール交流会 9月21日（土）
 - ・第4回上田市身体障害者福祉協会連合会マレットゴルフ親睦会 10月12日（土）
 - ・上田市身体障害者福祉協会連合会第6回ゲートボール交流会 11月9日（土）

〈武石区センター〉

- ア 武石身体障害者福祉協会事務局
- ・第39回上小地区障害者スポーツ大会 5月25日（土）
 - ・研修会 6月25日、（火）26日（水）
 - ・上田市身体障害者福祉協会連合会第ゲートボール交流会 10月25日（金）

（4）団体事業の育成

各種福祉団体事業を推進するため、協力費として活動費を助成し、団体育成に努めた。

団体名	助成金額	団体名	助成金額
うえだ市民ふれあい広場実行委員会	200,000 円	上田市聴覚障害者協会	130,000 円
上田市子ども会育成連絡協議会	140,000 円	上田地区更生保護女性会	250,000 円
上田市視覚障害者福祉協会	130,000 円	上田地区保護司会	120,000 円
上田市肢体不自由児・者父母の会	100,000 円	上田市赤十字奉仕団	100,000 円
NPO法人上田市身体障害者福祉協会	280,000 円	絵手紙サークルひまわり	50,000 円
上田市手をつなぐ育成会	150,000 円	上小手話サークル	130,000 円
上田ボランティア連絡協議会	150,000 円	モチーフの会	70,000 円
上田地域福寿クラブ連合会	300,000 円	でんでん虫の会	300,000 円
豊殿地区循環バス運営委員会	300,000 円	遊び塾 with you-with me	200,000 円
ｽﾞｼﾞﾙﾘﾝｸﾞ ｸﾞﾙｰﾌﾟ 日本長野ﾌﾞﾗﾝﾁ	160,000 円	シルバーバックの会	70,000 円
上田市学童保育連絡協議会	112,000 円	合計 21 団体	3,442,000 円

丸子地区 活動費助成団体

丸子地域高齢者クラブ連合会	300,000 円	丸子ボランティア連絡協議会	150,000 円
上田市丸子身体障害者福祉協会	300,000 円	傾聴ボランティア・まるこ	80,000 円
丸子モチーフの会	50,000 円	丸子地域食生活改善推進協議会	30,000 円
E キヤップの会	30,000 円	合計 7 団体	940,000 円

真田地区 活動費助成団体

真田地域赤十字奉仕団	40,000 円	信州真田六文銭太鼓	20,000 円
真田地域ボランティア連絡協議会	100,000 円	たんぼぼ文庫（絵本読み聞かせ）	30,000 円
真田町身体障害者福祉協会	50,000 円	かりがね福祉会 風の工房	40,000 円
食生活改善推進協議会	40,000 円	大福会（茶道普及の会）	20,000 円
上田市母子寡婦会真田支部	30,000 円	おとぎの会（朗読の会）	20,000 円
ミミールの会（民話紙芝居）	15,000 円	真田地域長寿会	30,000 円
おもちゃ図書館	30,000 円	障害のある人家族会	23,000 円
ふれあい広場実行委員会	20,000 円	野辺を渡る風のように	20,000 円
		合計 16 団体	528,000 円

武石地区 活動費助成団体

武石地域高齢者クラブ連合会	200,000 円	武石身体障害者福祉協会	50,000 円
もみじ会（1人暮らし老人の会）	100,000 円	ボランティア連絡協議会	20,000 円
		合計 4 団体	370,000 円

（５）その他

シルバー人材センターとの連携

- ・ 総会 5月23日（木）
- ・ 理事会 6月17日（月）、7月19日（金）、8月29日（木）、10月31日（木）、

11月27日(水) 12月26日(木)、1月29日(水)、2月27日(木)、
3月25日(火)

- ・東信シルバー人材センター役員研修会 6月27日(木)

遺族会事務局

- ・役員総会 4月8日(月)
- ・靖国神社参拝 4月18日(木)、19日(金)
- ・全国戦没者追悼式 8月15日(木)
- ・第61回長野県遺族大会 10月22日(火)
- ・平成25年度長野県戦没者追悼式 10月23日(水)
- ・長野県護国神社参拝 10月3日(木)
- ・上田市戦没者遺族大会・追悼式 11月7日(水)
- ・「戦没者への追憶」の発刊